会社説明資料

2026年 11月改訂

株式会社ジェイテクト

（6473）

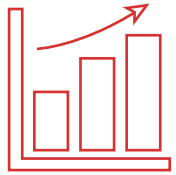
本日のアジェンダ

1. ジェイテクトについて
2. わたしたちの事業
3. 第二期中期経営計画進捗
4. 業績・株主還元
5. 未来への挑戦
6. おわりに

Copyright (C)：JTEKT Corporation

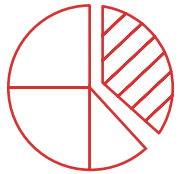
1. ジェイテクトについて

売上収益



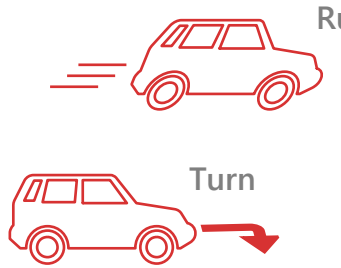
19,249 億円
(25年度)

事業利益率*1



3.9 %
(25年度)

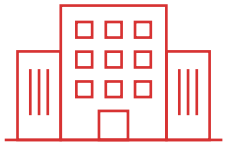
「走る」と「曲がる」のリーディングプレイヤー



電動パワーステアリング世界シェアNo.1*2



TOYOTAグループのキープレーヤー
(唯一の軸受、工作機械メーカー)



TOYOTA

会社沿革

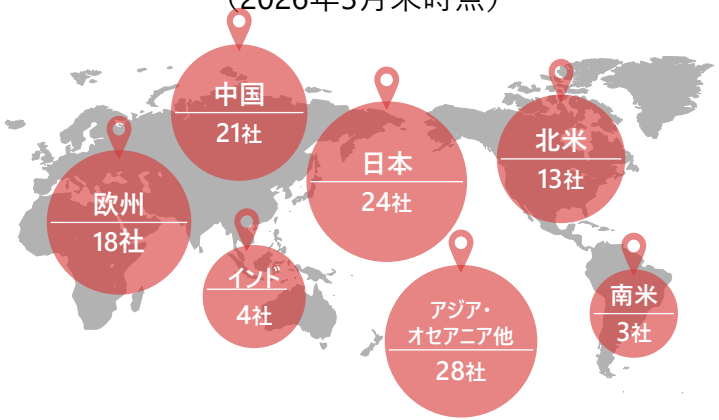
- **2005年** 光洋精工(1921年設立)と豊田工機(1941年設立)が合併契約書締結
- **2006年** ジェイテクト発足
- **2026年** ジェイテクト **20周年**

MVV - Mission Vision Value -



グローバルネットワーク

約**30カ国**で事業を展開
(2026年3月末時点)



*1 事業利益：「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益
*2 2025年 年間実績。自社調べ

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ MVVを共通の指針として、ソリューションプロバイダーへの変革を遂げる!!

Mission	Vision	Value
使命・存在意義	目指す姿	共通の価値観

Mission

技術をつなぎ
地球と
働くすべての人を
笑顔にする

Vision

JTEKT Group 2030 Vision

モノづくりとモノづくり設備で
モビリティ社会の未来を創る
ソリューションプロバイダー

Value

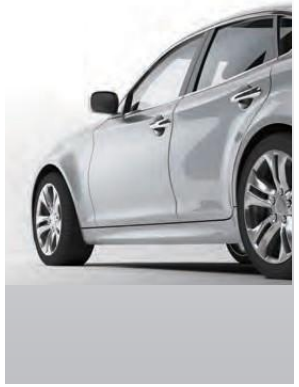
Yes for All, by All !

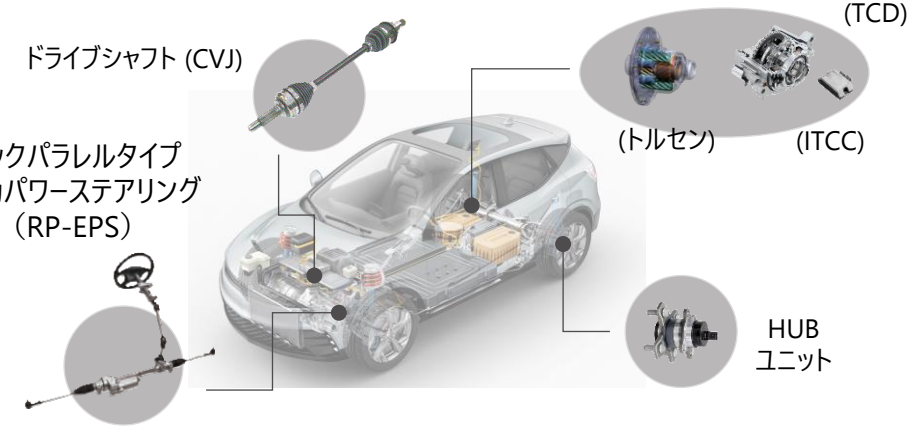


Copyright (C)：JTEKT Corporation

1-6. JTEKTの主要事業

セグメント	事業領域／事業方針	売上収益*1 26/3期 19,249億円	事業利益*1 *2 26/3期 756億円
自動車事業	「走る」「曲がる」を担うリーディングサプライヤー	▶ステアリングシステム 9,076億円 47.2%	328億円 42.2% マージン 3.6%
		▶駆動 4,593億円 23.9%	138億円 17.7% マージン 3.0%
産機・軸受事業	社会の回転を支え、よりスムーズにさまざまな産業を動かす技術を	3,470億円 18.0%	112億円 14.4% マージン 3.2%
工作機械・システム事業	モノづくり全てのフェーズでバリューを提供	2,088億円 10.9%	200億円 25.7% マージン 9.6%







小型・軽量化／
長寿命に応える
産業機械用軸受





半導体／液晶製造
機械を動かす軸受



EXSEV®
軸受シリーズ



CNC円筒研削盤
G1 Series



横形マシニングセンタ
「FH5000シリーズ」



ギヤスカイビング
加工技術

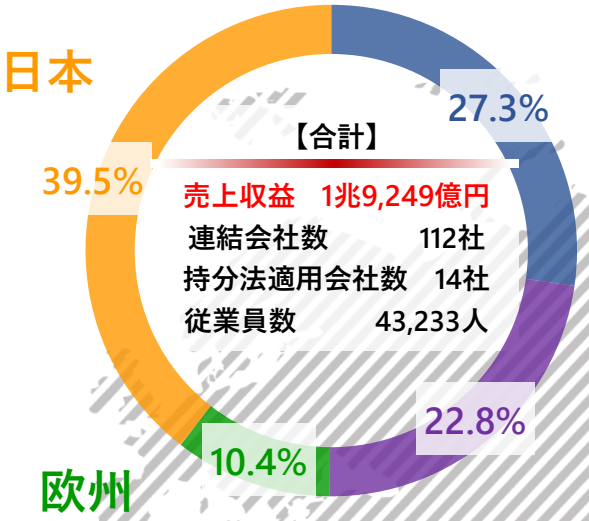


*1 各事業の売上収益・事業利益の割合は、「その他の事業・連結調整額」を除く事業合計に対する割合
*2 事業利益：「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

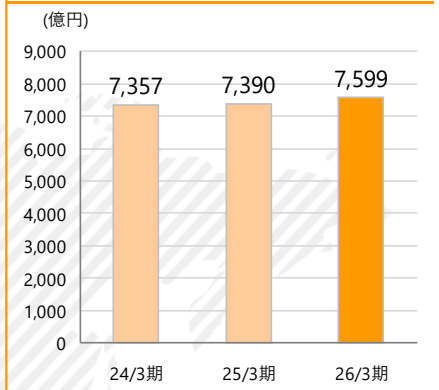
Copyright (C)：JTEKT Corporation

1-7. グローバルで活躍するJTEKT

★統括拠点　●生産拠点　■販売拠点　▲研究・開発拠点

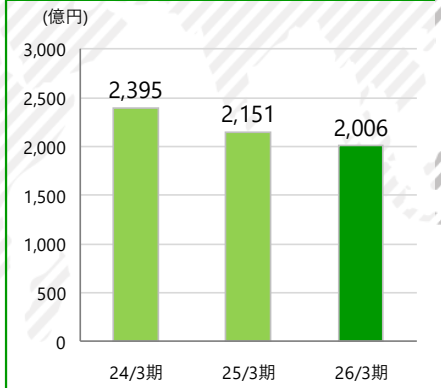


日本



- 売上収益 …… 7,599億円
- 連結会社数 …… 25社
- 持分法適用会社数 …… 3社
- 従業員数 …… 18,819人

欧州



- 売上収益 …… 2,006億円
- 連結会社数 …… 18社
- 持分法適用会社数 …… 2社
- 従業員数 …… 4,131人

EUROPE
(欧州)
★●■▲

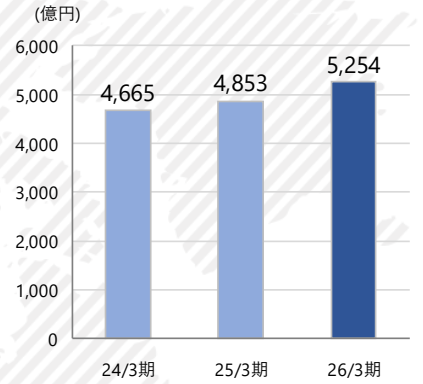
ASIA
(アジア：含む中国)
★●■▲

OCEANIA
(オセアニア)
■

JAPAN
(日本)
★●■▲

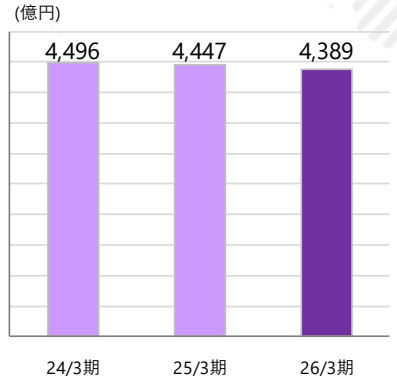
NORTH AMERICA
(北米)
★●■▲

北米



- 売上収益 …… 5,254億円
- 連結会社数 …… 13社
- 持分法適用会社数 …… 2社
- 従業員数 …… 6,587人

アジア・南米・その他



- 売上収益 …… 4,389億円
- 連結会社数 …… 56社
- 持分法適用会社数 …… 7社
- 従業員数 …… 13,696人

SOUTH AMERICA
(南米)
●■▲

※2026年3月31日現在

Copyright (C)：JTEKT Corporation

1-8. JTEKTの幅広い顧客層

■ 自動車領域のお客様　：　約400社と取引

■ 産業機械領域のお客様：約2,000社と取引
(農建機、鉄鋼、ロボット、半導体、風力など)

【自動車領域】

日本

- トヨタ自動車
- 日産自動車/三菱自動車
- 本田技研工業
- マツダ
- SUBARU
- ダイハツ工業
- スズキ
- いすゞ自動車
- ARCHION
- デンソー
- アイシン
- 豊田自動織機
- Astemo
- JATCO
- Nidec

北米

- GM
- Ford
- Lucid
- Rivian
- AAM
- DANA
- EATON
- MAGNA
- ALLISON
- DAYCO

アジア

- 一汽集団
- 上海集団
- 東風汽車
- 長安汽車
- BYD
- 現代自動車
- TATA
- Mahindra & Mahindra

欧州

- BMW
- VW/Audi
- Daimler
- Jaguar
- Renault
- Stellantis
- ZF
- BOSCH
- GKN

【産業機械領域】

建設機械

- コマツ
- 日立建機

農業機械

- クボタ
- ヤンマー

鉄鋼

- 日本製鉄
- JFEスチール
- 神戸製鋼
- Primetals Technologies

パワースポーツ

- Yamaha
- Honda
- Kawasaki

電子機器/OA

- 三菱電機
- Canon

ロボット

- FANUC
- 安川電機
- 日本電産シンポ
- 住友重機械工業
- ナブテスコ

産業車両

- 豊田自動織機

工作機械

- ヤマザキマザック
- ツガミ

航空

- 三菱重工
- IHI
- 川崎重工

鉄道

- JR

半導体

- 東京エレクトロン
- Edwards

建設機械

- CATERPILLAR
- JCI
- DANA

農業機械

- John Deere
- AGCO
- CNH

鉄鋼

- POSCO
- Arcelor Mittal
- SMS
- Bao steel
- China steel

パワースポーツ

- Mercury Marine
- Polaris

ロボット

- Midea Group

風力発電

- Siemens Gamesa RE

医療機器

- GE Healthcare

油圧機器

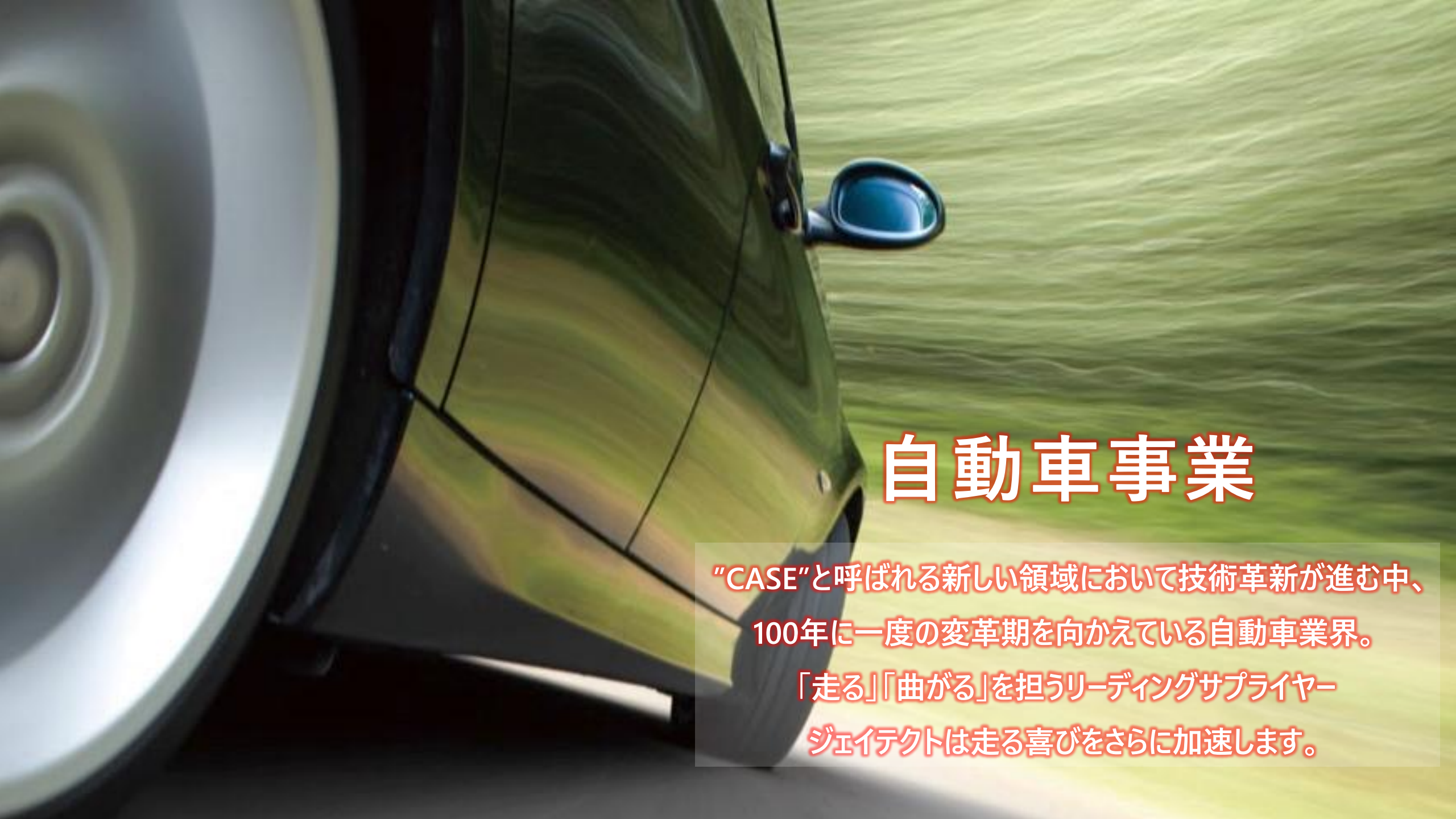
- EATON

半導体

- Brooks automation
- Applied Material
- ASML

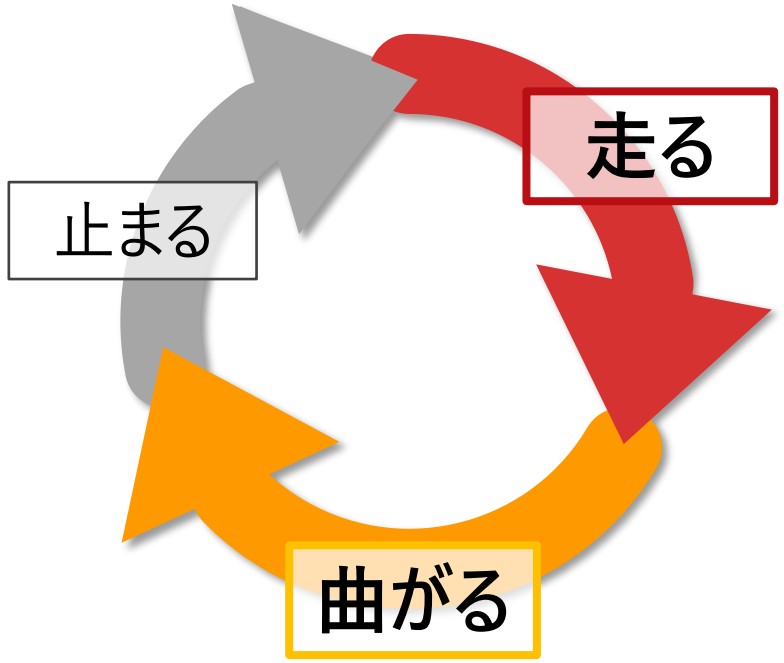
Copyright (C)：JTEKT Corporation

2. 私たちの事業



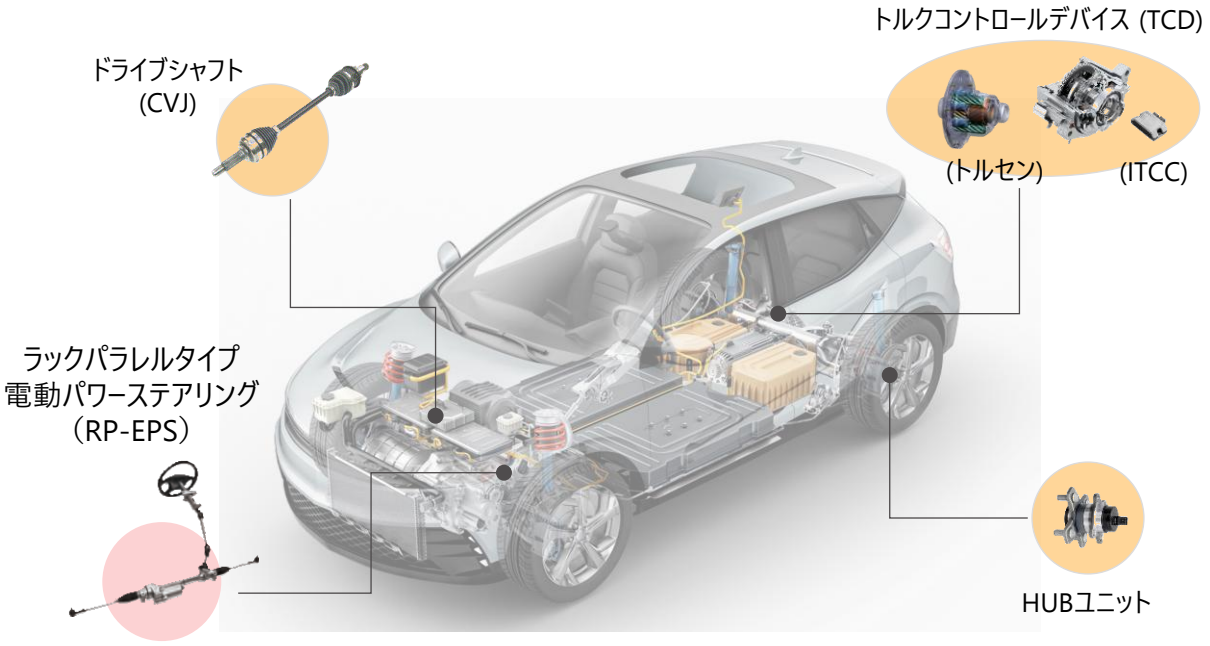
自動車事業

“CASE”と呼ばれる新しい領域において技術革新が進む中、
100年に一度の変革期を向かえている自動車業界。
「走る」「曲がる」を担うリーディングサプライヤー
ジェイテクトは走る喜びをさらに加速します。



自動車の「曲がる」を担う ステアリング

- ✓ ステアリングシステムで “**世界シェアNO.1**”
- ✓ 市場ニーズに応えるため、全てのラインアップをそろえる
  (小型～大型車まで) ➡ **あらゆる車両/地域に適用可能**



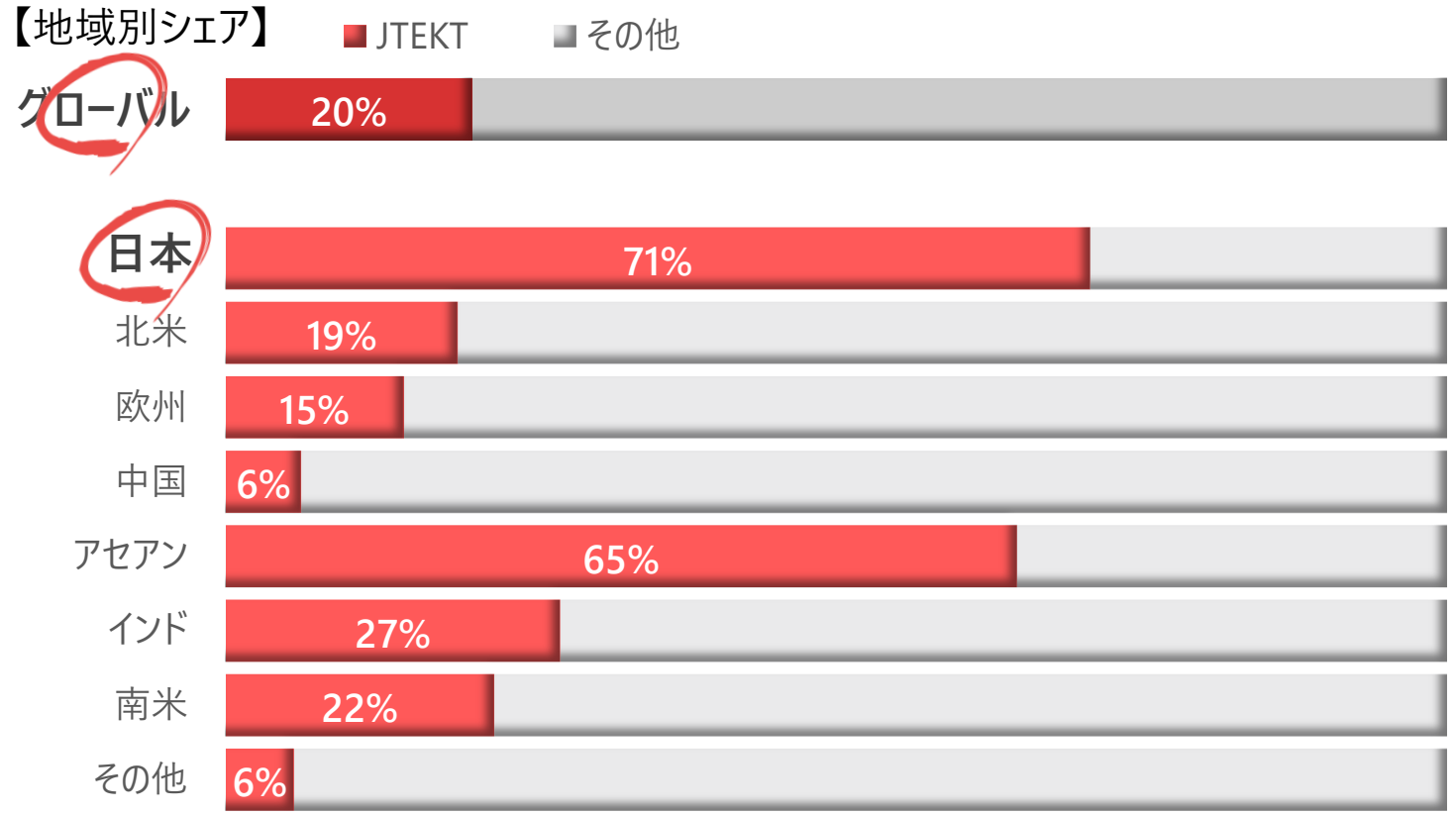
自動車の「走る」を担う 駆動部品

- ✓ 車両の**運動性能、走行安定性**を飛躍的に向上、
  省燃費・省エネにも貢献
- ✓ ドライブライン～HUBまで伝達系製品を全てカバー

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 当社のステアリングシステムは、幅広い製品ラインナップとグローバル生産拠点により、世界シェアNO.1を実現





2026年4月現在 (社内調査)

Copyright (C)：JTEKT Corporation



産機・軸受事業

モノの回転をスムーズにすることで、見えない場所から
世界の産業を、暮らしを支え続けるベアリング。
動くところすべての可能性を広げる、
トライボロジーから材料開発、加工技術で産業を革新します。

モノの「回転をスムーズ」にする ベアリング(軸受)



- ✓ **“機械産業の米”** とも呼ばれており、社会に必要不可欠な機器で活躍
- ✓ 自動車向け
  より**低トルク/小型軽量**の製品を開発し、BEVの**電費向上に貢献**
- ✓ 産機向け
  小型から大型まで生産可能であり、あらゆる業種に提供

ベアリングの貢献領域

- ▶ 半導体・FPD・高機能フィルム・建設・運搬・農業機械・工作機械
- ▶ 風力発電・太陽光発電・鉄鋼・自動車・医療機器・航空機・鉄道車両(新幹線)
- ▶ 複写機・エアコン・パソコン





Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 過酷な環境や精度が求められる機械においても、しっかりと役割を果たせる「高い性能と品質」

▶ 役割①：摩擦を少なくし、回転を滑らかにする

▶ 役割②：回転を支える部分を守り、“軸”を正しい位置に保つ

鉄鋼設備用軸受



✓ 重荷重・超高温の中でも、精密な動きと高速回転を実現

✓ 転がり、疲労寿命、靭性、耐食性を大幅に改善

半導体製造装置用軸受



✓ 精度が求められる半導体製造に関わるあらゆる機械に使用

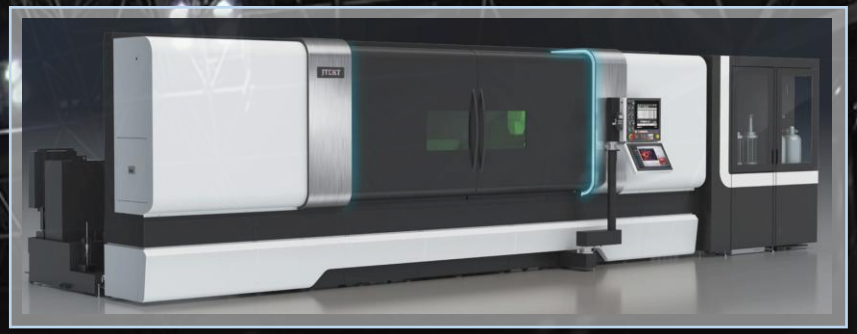
✓ 高いコーティング技術を有し、耐食性も兼ね揃える

Copyright (C)：JTEKT Corporation

工作機械・システム事業

JIMTOF2026
日本国際工作機械見本市

「お客様のつくるモノの価値を高める」
それがジェイテクトが目指すラインビルダーの使命です。





モノづくりの「生命線を支え続ける」工作機械

✓ あらゆる機械や部品は、工作機械によってつくられる ➡ **全てのモノづくりを支える**

✓ それぞれのグループ各社で**コア技術・コンピタンスを持ち、総合力の結集**により工作機械を提供

機械をつくる -工作機械-

「モノづくりのマザーマシン」

▶ 高品質の製品を生み出す超高精度の機械を提供

生産ラインをつくる -メカトロニクス-

「生産性の高い生産ライン」

▶ 工場全体を制御し、動かす技術を提供



Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ グループのコンピタンスを組み合わせソリューションプロバイダーへ

研削盤その他チーム
半導体チーム
PLC/HMIチーム

JMS
(JTEKT Machine Systems)



平・立・センタレス
研削盤



JTEKT
円筒研削盤
マシニングセンター

JGS
(JTEKT Grinding Systems)



円筒研削盤

JGT
(JTEKT Grinding Tools)



研削用砥石

JGR
(JTEKT Gear Systems)



歯研盤

JTS
(JTEKT Thermo Systems)



熱処理炉設備

JFP
(JTEKT Fluid Power systems)



油圧機器
耐震ダンパー

JEL
(JTEKT ELECTRONICS)



電子製品
PLC・エンコーダー

ADC
(Automation Direct. Com)
PLC等のeコマース販売



Copyright (C)：JTEKT Corporation

3. 第二期中期経営計画の進捗

3-1. JTEKT 中期経営計画

JTEKT Group
2030 Vision

第一期中計	第二期中計	第三期中計
赤字体質からの脱却は完了 更なる成長へ、事業構造転換、 欧米構造改革は継続	Ⅰ 既存製品の高付加価値化 Ⅱ 新領域へのチャレンジ 付加価値向上と欧米構造改革に注力 ROE・利益率改善 余力を確保し、 ソリューション創出へリソースをシフト	Ⅱ 新領域へのチャレンジを 拡大・収益力強化 新規事業・ソリューションの拡大を 軸とした更なる成長



ONE! JTEKT

2022年4月 Koyo、TOYODA、JTEKTは、
すべてのブランドを JTEKT に統一します。

体質強化の3年

2021 2023

既存事業の成長と
新規事業の育成

2024 2026

刈り取りと飛躍

2027 2030

“モビリティ社会の未来を創るソリューションプロバイダー”への飛躍

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ この2年間でやるべきことを計画通り実行、第二期最終年に各施策をやり切る
■ 26年度は将来への仕掛けも並行し、第三期の価値創造フェーズに向け準備を進める

“モビリティ社会の未来を創るソリューションプロバイダー”へ

最終年

第三期中計

第二期中計

24 25 26 27 28 29 30

●第二期中計期間にできたこと

✓ 北米の収益改善
(ロスコストの削減)

✓ 欧州構造改革の実行
(NRB*事業の売却、
欧州顧客向け自動車事業の譲渡)

✓ 投下資本のスリム化

✓ SbW*、Pairdriver®の上市

飛躍の準備

JTEKT Group 2030 Vision

モノづくりとモノづくり設備で
モビリティ社会の未来を創る
ソリューションプロバイダー



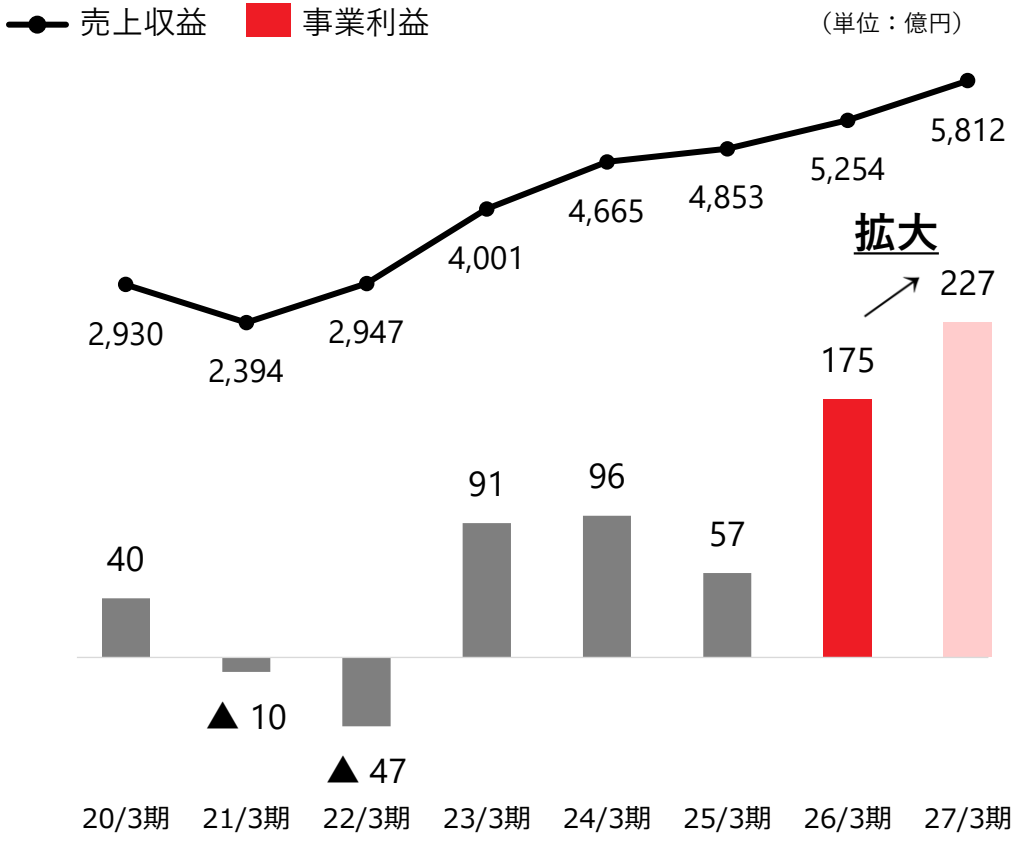
* NRB: Needle Roller Bearing
* SbW: Steer by Wire

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ タスク・フォース・チーム(TFT)活動により、生産の正常化 (ロスコストのゼロ化)・価格の適正化が順調に進捗

■ 今後は成長地域として、更なる黒字拡大に向けTFT活動の総仕上げを実施する

売上・利益推移



タスクフォースチーム活動

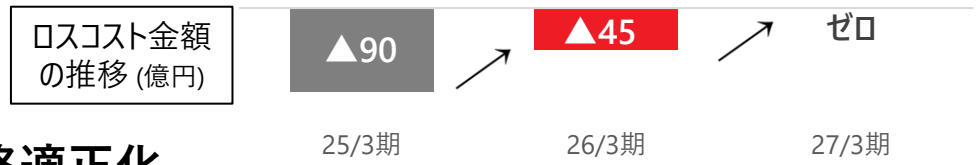
■ 生産性改善 (ロスコスト削減)

グローバル各地域での好事例を活かした生産体制の立て直し

✓ 日本流の教育導入"Mendo-mi活動" → 離職率低減

✓ 生産の入替 (複雑な加工：日本、簡単な組付け：米国)
→ 生産応援/Air代の発生STOP、不良率/スクラップ率削減

✓ ライン改造・自動化の加速 → 省人化 / PPH*改善



■ 価格適正化

市況変動 (物量の不安定さ・急激なインフレ・関税等)がある中、サプライチェーン全体での改善活動を推進

✓ 客先とのコミュニケーションを強化 → 価格適正化(売価改善)

✓ 仕入先への困りごとヒアリングを強化 → 原価改善の共創加速

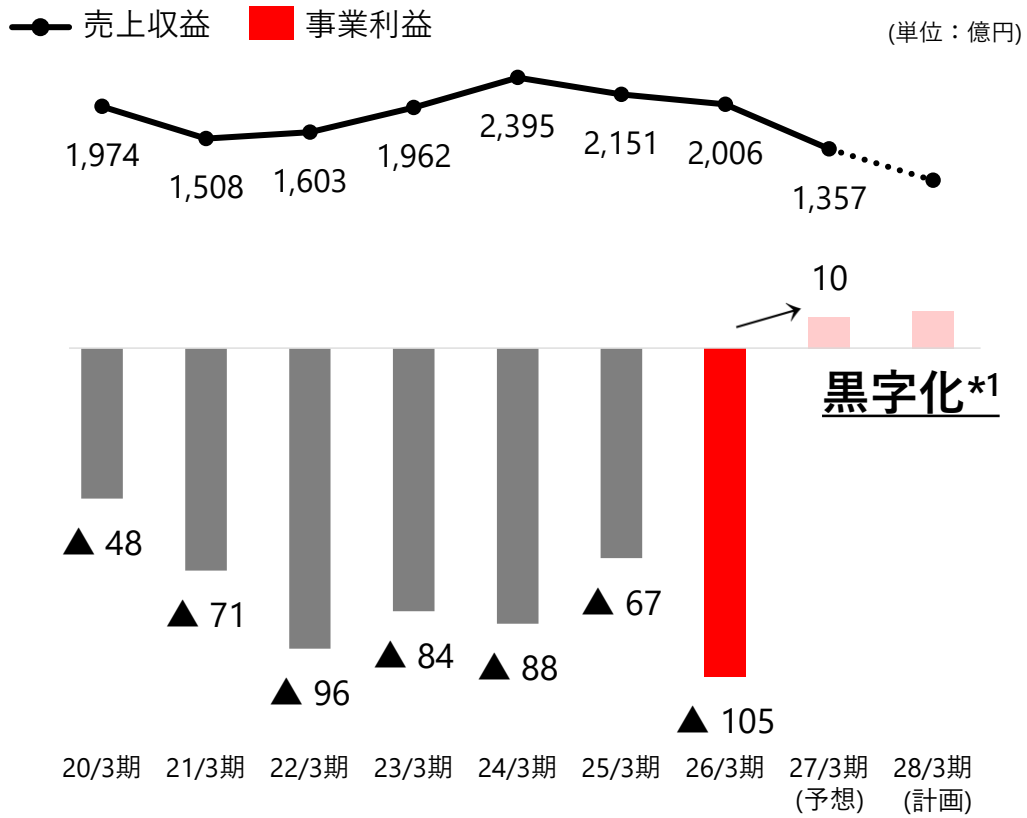
* PPH : Pieces per hour (時間当たり生産高)

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 長年赤字が継続している欧州事業について、複数事業の譲渡を決断

■ 構造改革の完遂(当初計画に対して前倒し)により、27/3期から欧州事業は黒字化*1の見込み

売上・利益推移



これまでの構造改革の取組み

24/3期 ポンプ事業の譲渡

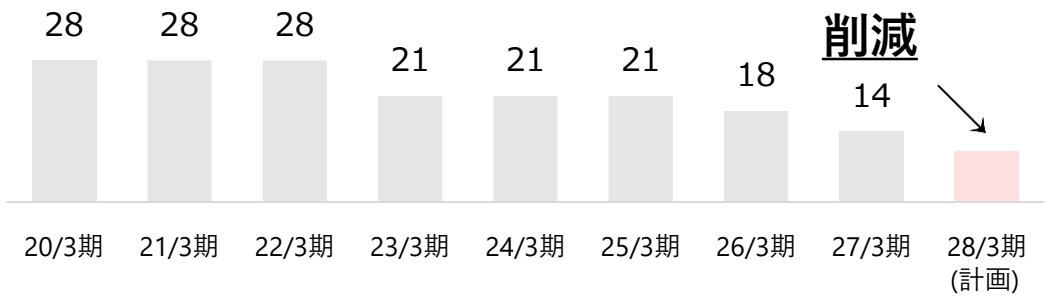
26/3期 NRB*2事業の譲渡

27/3期 欧州顧客向け自動車事業の譲渡(7月末)

27/3期 残りの構造改革を推進

［HUB・軸受製造拠点(ルーマニア・英国)の撤退
→ 日本・中国等への生産移管］

拠点数



*1 期初の予想では、28/3期での黒字化を目指していたが、前倒しでの完遂の目途が立ち、27/3期から黒字化達成の見込み

*2 NRB: Needle Roller Bearing

Copyright (C)：JTEKT Corporation

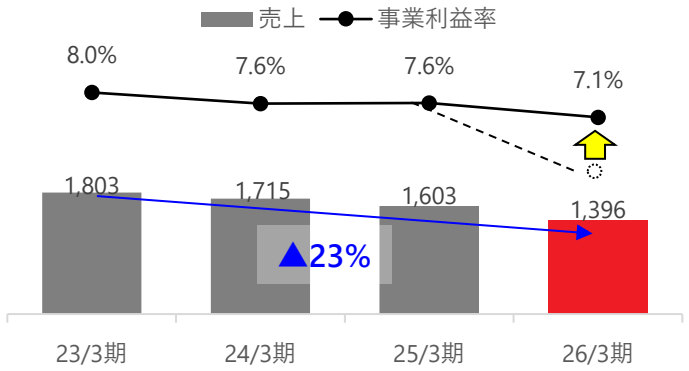
■ 中計策定時と比較し、主に以下の3点の状況が逆風になっている

1. 中国での売上減少

✓ **中華系自動車メーカーの躍進**

大きく売上減も、早期から**固定費削減**に取り組み、**7%台の利益率を維持**

(中国の売上・利益率推移)



✓ **最適体制の検討を含めた中国戦略を立案中**

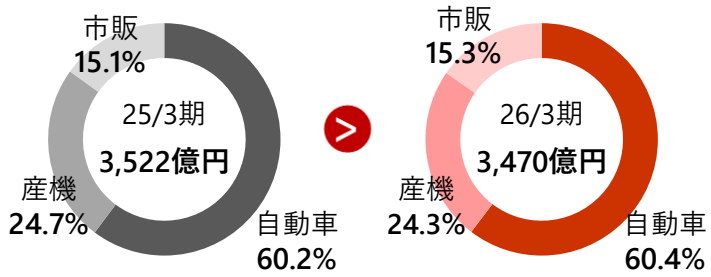
2. 産機市場の競争激化

✓ **新興・既存競合の攻勢により価格競争激化**

✓ **主要顧客の売上伸び悩み**

不採算拠点の売却・撤退などの**固定費削減**を中計に沿って推進

(産機・軸受 業種別売上)



✓ **ポートフォリオの変革と事業構造の転換を進め、収益向上を図る**

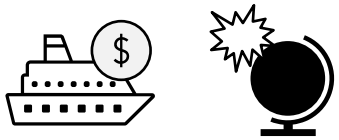
3. 地政学リスク

✓ **米国関税政策によるコストアップ**
(26/3期 利益影響: ▲42億円)

自社での対策及び客先転嫁交渉の結果、**期ズレ要因以外のロスは最小化**

✓ **中東情勢悪化の長期化**

売上・コスト・供給など複合的なリスクあり
➡ サプライチェーン全体での対応が必須



✓ **客先との関税影響の交渉継続**
✓ **中東情勢を見極めた稼働判断**

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ **売上収益**：欧州構造改革の影響はあるが、為替の効果に加え、北米・アジアでの販売増加等により**増収**
■ **事業利益**：米国関税・インフレ等が先行発生する中でも、構造改革や原価改善活動の効果等により**増益**
■ **当期利益**：欧州構造改革費用を計上したが、事業利益の増加を主因として**増益**

( )内は売上収益比　　単位：億円

	25/9期 実績		**26/9期 実績**		増減	%
売上収益		9,301		**9,707**	＋406	+4.4%
事業利益 *1	(3.6%)	331	(5.2%)	**506**	＋175	+52.8%
営業利益	(2.8%)	260	(3.7%)	**360**	＋99	+38.4%
税引前利益	(2.5%)	236	(3.4%)	**332**	＋95	+40.3%
当期利益 *2	(1.3%)	121	(2.2%)	**217**	＋95	+78.8%
為替レート USD		146.04円		**159.37円**	13.33円 円安	
EUR		168.06円		**184.35円**	16.29円 円安	

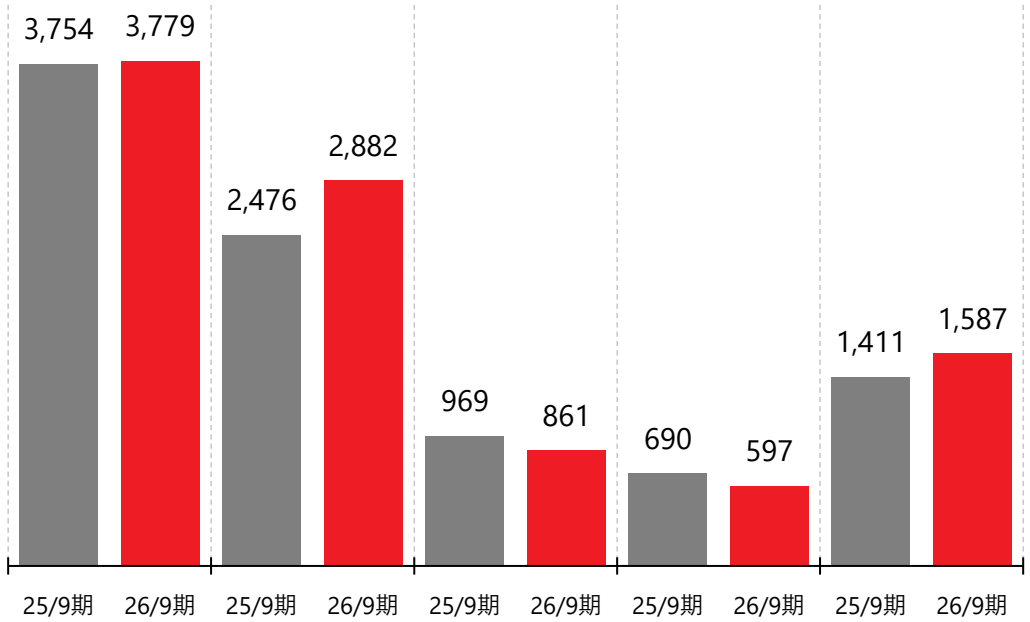
*1 「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益
*2 親会社の所有者に帰属する中間利益

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 構造改革効果の大きな欧州を含め、**全地域黒字**。ただし、減収影響の大きい中国のみ**減益**

売上収益

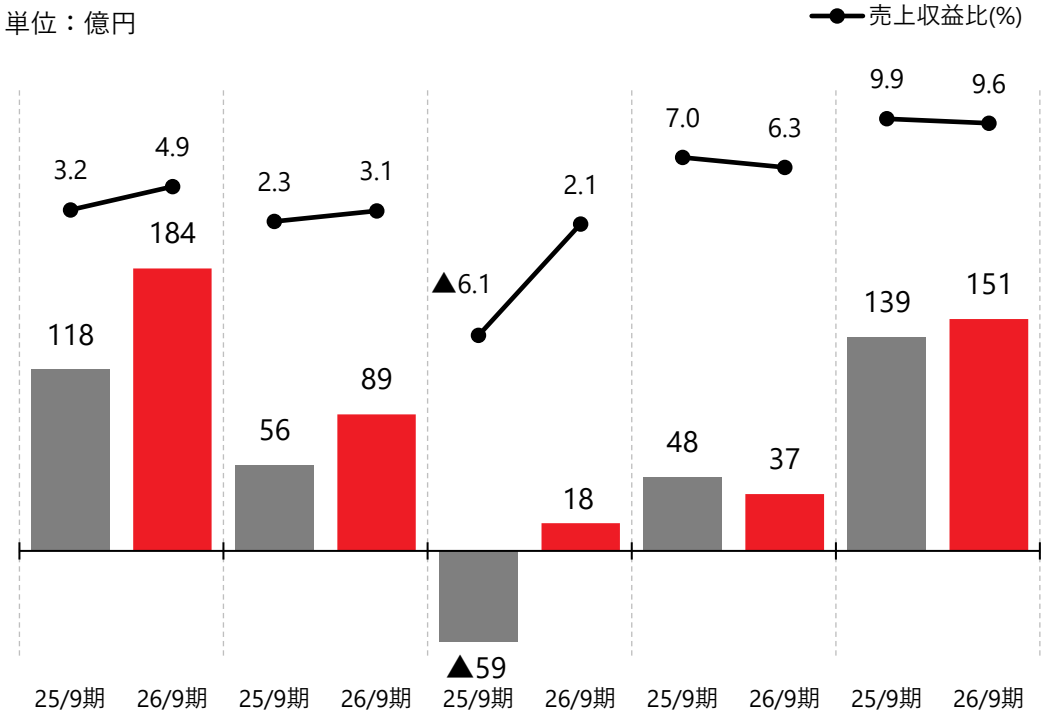
単位：億円



日本	北米	欧州	中国	アジア他
増減 [率]				
＋24 [＋0.7%]	＋406 [＋16.4%]	▲107 [▲11.1%]	▲93 [▲13.5%]	＋176 [＋12.5%]

事業利益

単位：億円



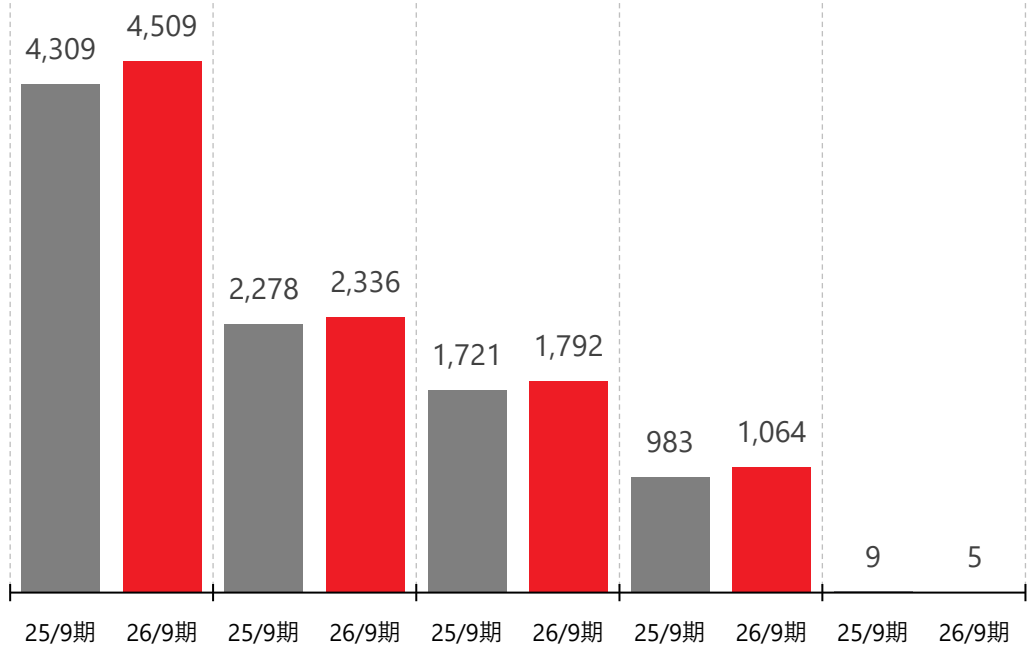
日本	北米	欧州	中国	アジア他
増減 [率]				
＋65 [＋55.5%]	＋32 [＋56.7%]	＋77 [-%]	▲10 [▲22.4%]	＋12 [＋8.9%]

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 欧州構造改革・原価改善等の効果が大きいステアリングが、他事業をけん引

売上収益

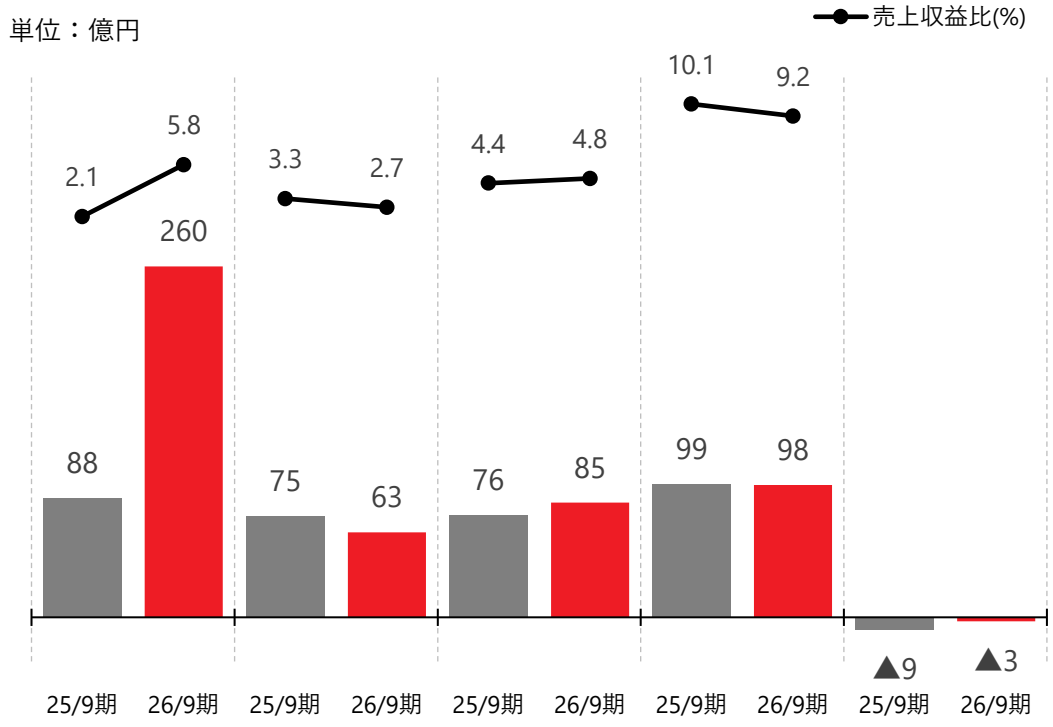
単位：億円



ステアリング	駆動	産機・軸受	工作機械	その他
増減 [率]				
＋200 [＋4.6%]	＋57 [＋2.5%]	＋70 [＋4.1%]	＋81 [＋8.3%]	▲3 [▲42.0%]

事業利益

単位：億円



ステアリング	駆動	産機・軸受	工作機械	その他
増減 [率]				
＋171 [＋194.1%]	▲12 [▲16.5%]	＋9 [＋11.9%]	▲0 [▲1.0%]	＋6 [-%]

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 欧米構造改革や原価改善の進捗を反映し、**売上収益・事業利益を上方修正**
営業利益以下は、構造改革費用のアップデート・金融収支の先行き不透明感を踏まえ、据え置き

( )内は売上収益比

単位：億円

	26/3期 実績		27/3期 期初予想		27/3期 修正予想		前年比	期初予想比
売上収益		19,249		18,800		**19,200**	▲49	+400
事業利益 *1	(3.9%)	756	(4.8%)	900	(4.9%)	**950**	+193	+50
営業利益	(1.3%)	248	(4.0%)	750	(3.9%)	**750**	+501	—
税引前利益	(1.4%)	273	(3.7%)	700	(3.6%)	**700**	+426	—
当期利益 *2	(0.6%)	119	(2.7%)	500	(2.6%)	**500**	+380	—
為替レート USD		150.77円		156.00円		**157.00円**	6.23円 円安	1.00円 円安
EUR		174.79円		181.00円		**182.00円**	7.21円 円安	1.00円 円安
1株当たり当期利益		37.62円		157.07円		**157.06円**	+119.44円	▲0.01円

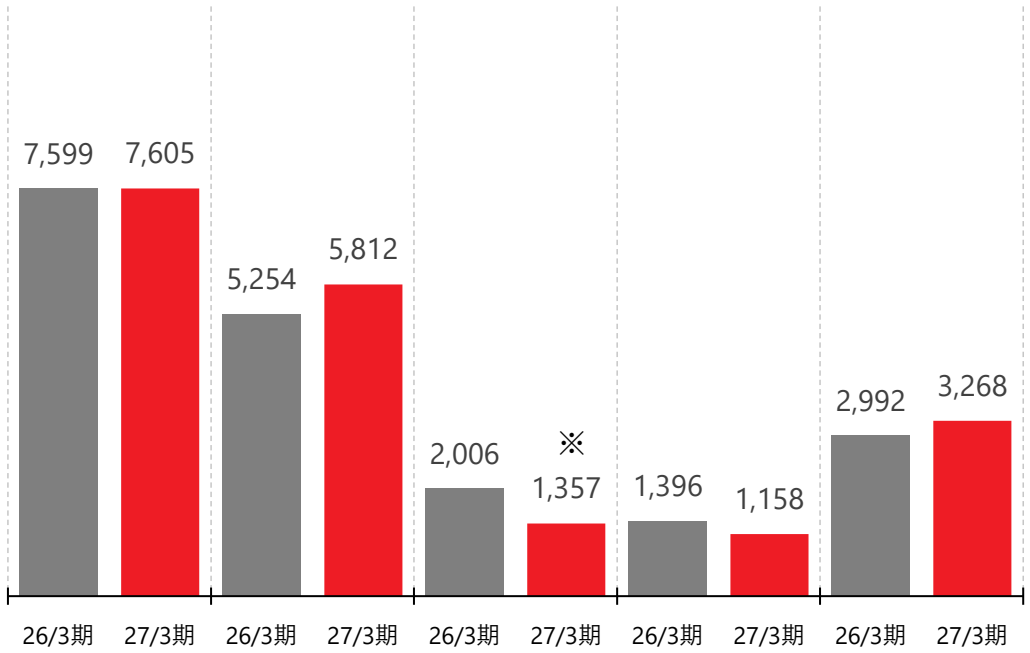
*1 「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益
*2 親会社の所有者に帰属する当期利益

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 欧州は構造改革効果が本格的に発現し始めていることから1年前倒しでの黒字化を見込む

売上収益

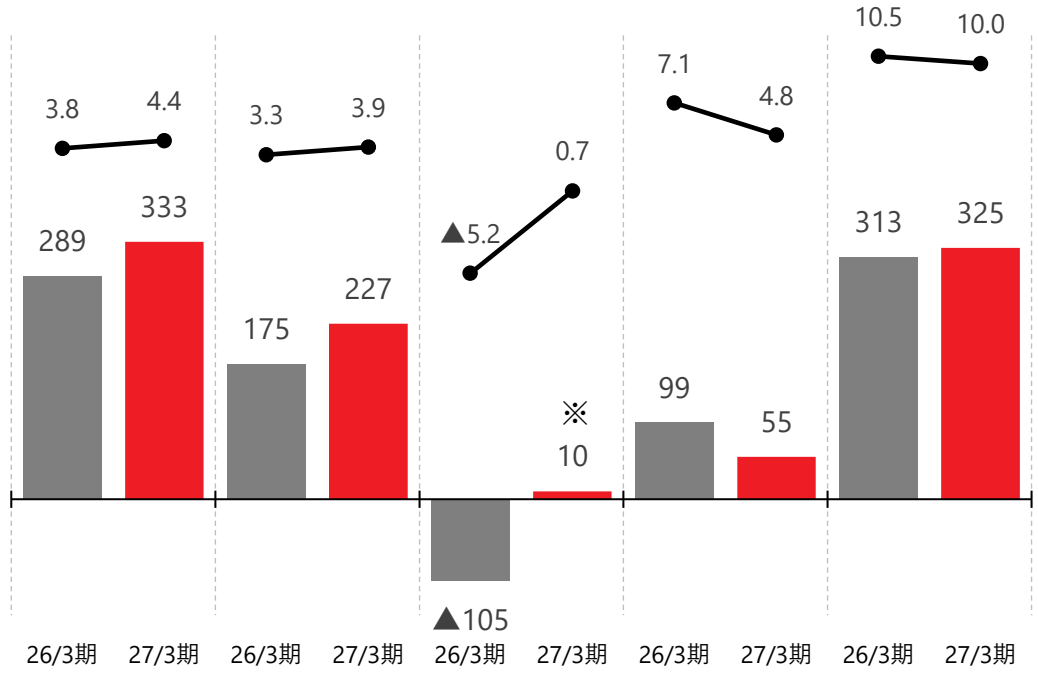
単位：億円



日本	北米	欧州	中国	アジア他
増減 [率]				
＋5 [＋0.1%]	＋558 [＋10.6%]	▲650 [▲32.4%]	▲238 [▲17.1%]	＋275 [＋9.2%]

事業利益

単位：億円　売上収益比(%)

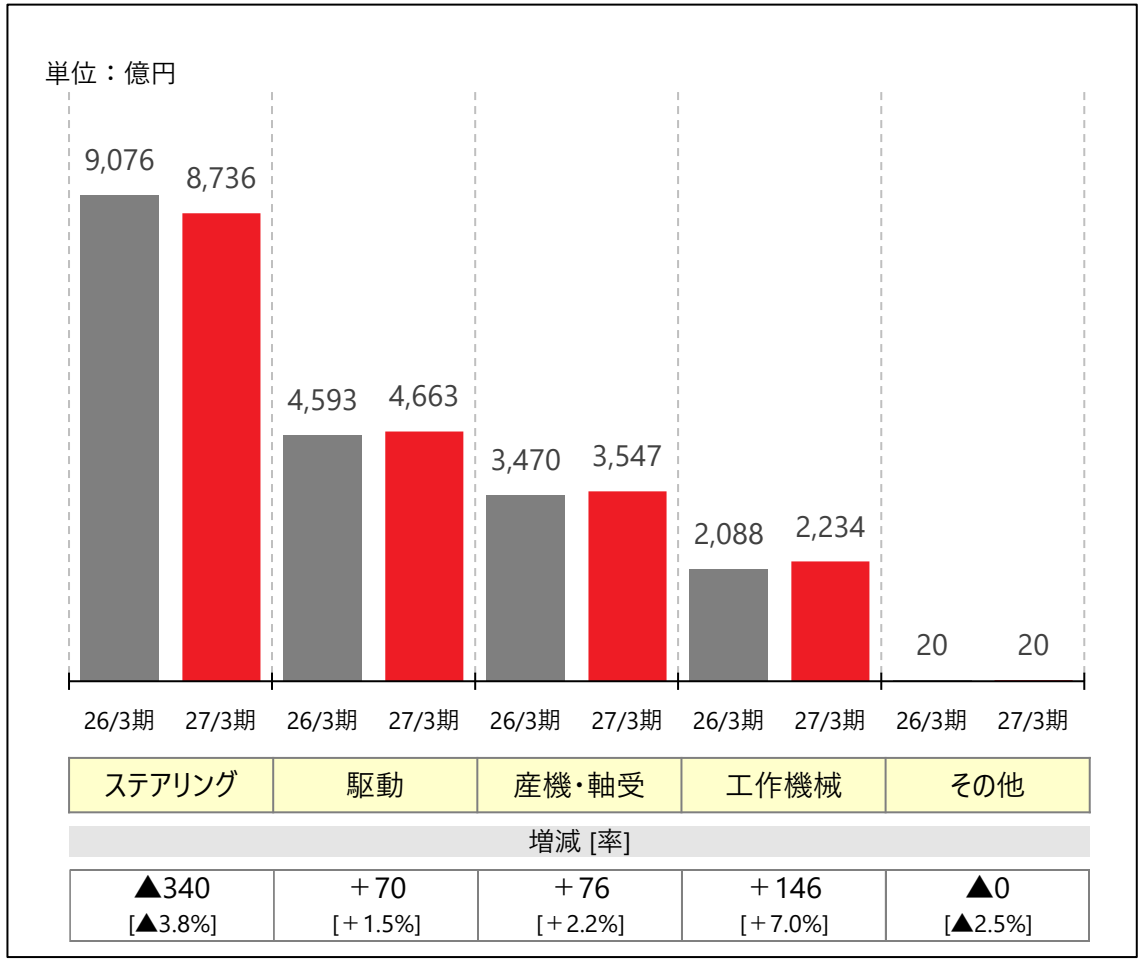


日本	北米	欧州	中国	アジア他
増減 [率]				
＋43 [＋14.8%]	＋52 [＋29.5%]	＋115 [-%]	▲44 [▲44.1%]	＋11 [＋3.6%]

Copyright (C)：JTEKT Corporation

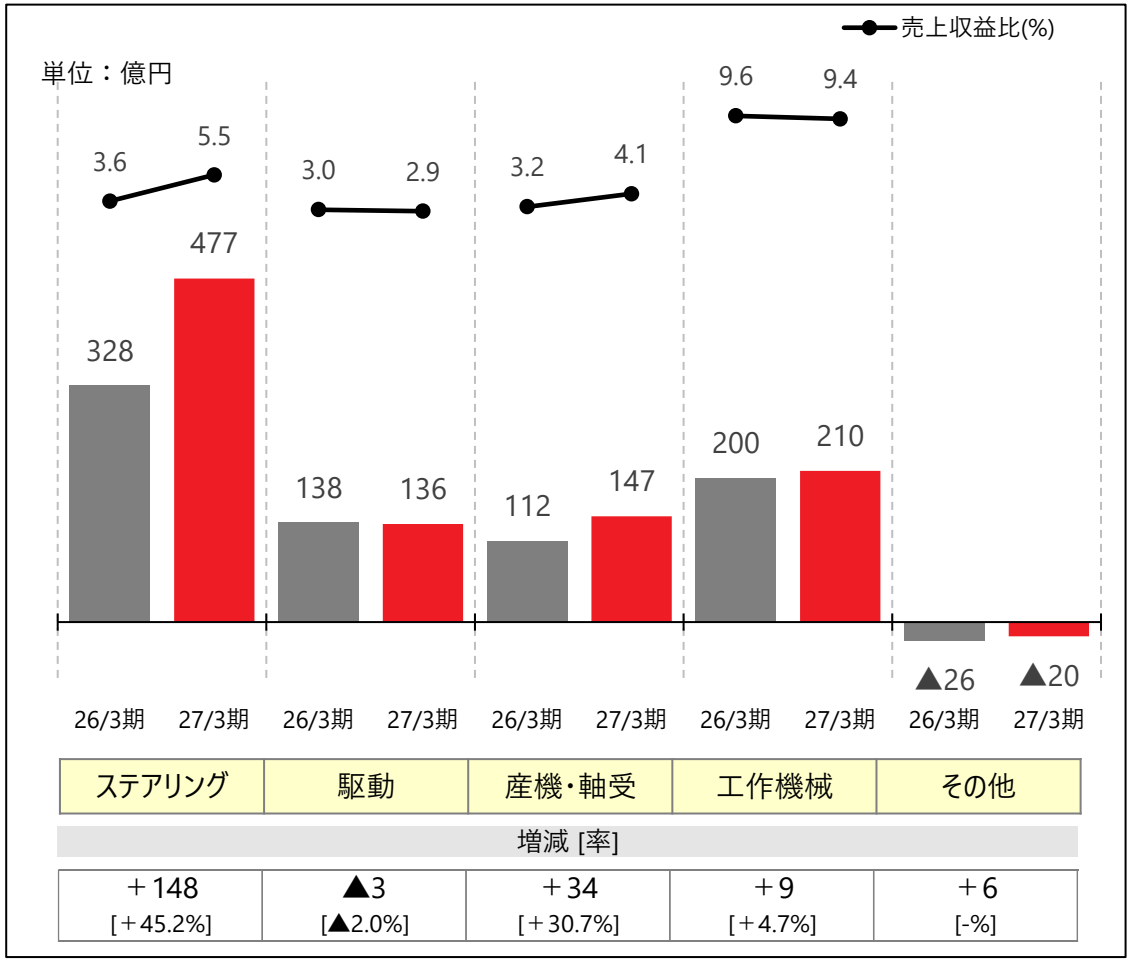
■ 上期と同様に、欧州構造改革・原価改善等の効果が大きいステアリングが、他事業をけん引

売上収益



ステアリング	駆動	産機・軸受	工作機械	その他
増減 [率]				
▲340 [▲3.8%]	＋70 [＋1.5%]	＋76 [＋2.2%]	＋146 [＋7.0%]	▲0 [▲2.5%]

事業利益



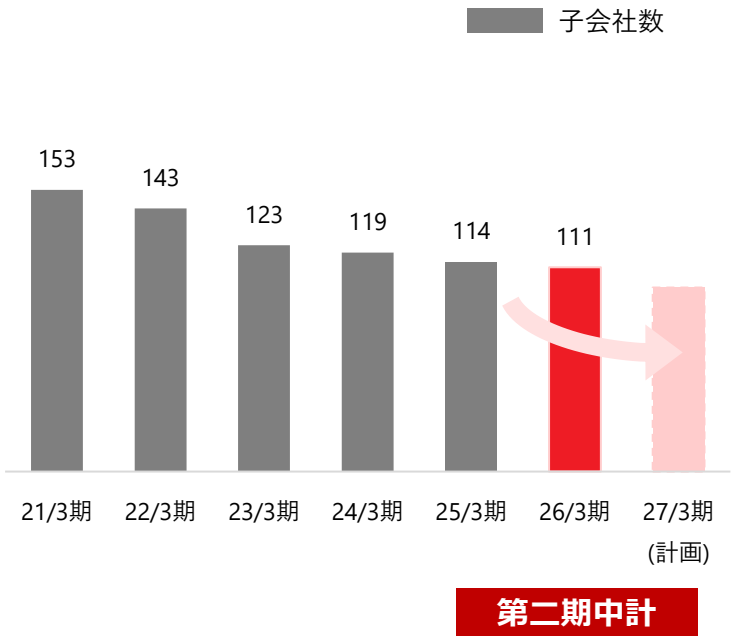
ステアリング	駆動	産機・軸受	工作機械	その他
増減 [率]				
＋148 [＋45.2%]	▲3 [▲2.0%]	＋34 [＋30.7%]	＋9 [＋4.7%]	＋6 [-%]

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 資産効率の向上を重視し、**適正規模へのダウンサイジングは順調に推進**

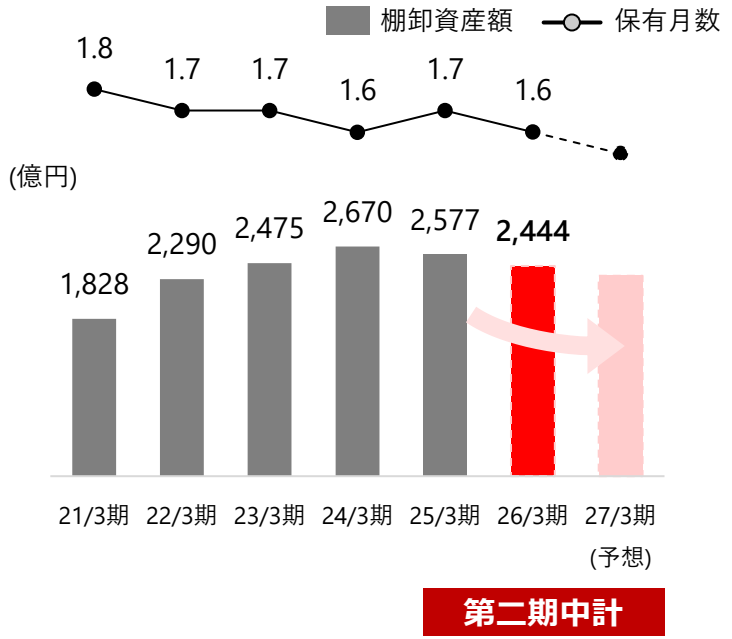
低収益資産圧縮・拠点統廃合

- ✓ 資産効率を意識して、構造改革を引き続き実施
- ✓ 注力/脱力 領域を層別し、会社統廃合を加速



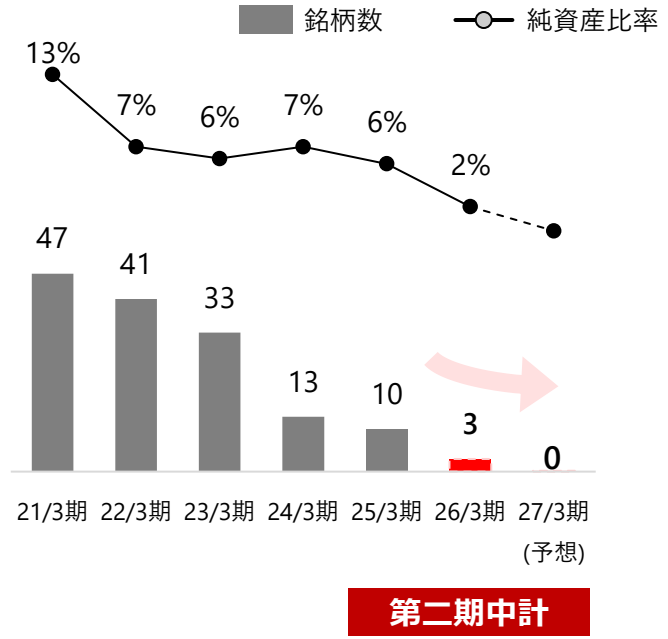
棚卸資産の削減

- ✓ 外部要因 (為替+130、米国関税+39) を除くと26/3期は▲300億円削減
- ✓ サプライチェーン見直しや生準L/T短縮により、更なる削減を推進



政策保有株式の売却

- ✓ 26/3期迄に大部分の売却が完了
- ✓ 27/3期に計画通り完遂する予定
  ➡ ピーク*から8年でゼロ化
  *ピーク：19/3期の77銘柄



Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 中計目標達成に向け前述の施策を実行中、特に構造改革が寄与し、目標達成も視界に捉えている

	2025 実績	**2026 見込**	2026 中計
ROE	1.4%	**6.2%**	7-8%
事業利益率	3.9%	**4.9%**	5-6%
PBR	0.66倍	-	1倍
売上収益	1.92兆円	**1.92兆円**	2兆円
従業員エンゲージメント (eNPS*)	-63	-	-55
CO_2削減量 2013年度比	-45% 見込み値	-	-45%

中計目標を前倒しで達成見込み

【財務指標】

- ✓ 市場環境の変化に伴う売上の下振れにより ROE・利益率ともに現時点では目標未達だが、**目標達成も視界に入っている**
- ✓ **構造改革は、中計に沿って着実に推進中** そのため25年度のROEは低迷 (計画通り) ただし、一部の費用計上が26年度にズレ込み

【非財務指標】

- ✓ 労使の対話とサーベイ起点の職場改善により、eNPSは改善傾向
- ✓ 花園工場にCNプラントを新設し、CN実現を加速 蓄電・水素による工場規模でのグリーンエネルギーの地産地消を実証 → ビジネス化準備中

* eNPS：Employee Net Promoter Score ；JTEKT単体の数値

Copyright (C)：JTEKT Corporation

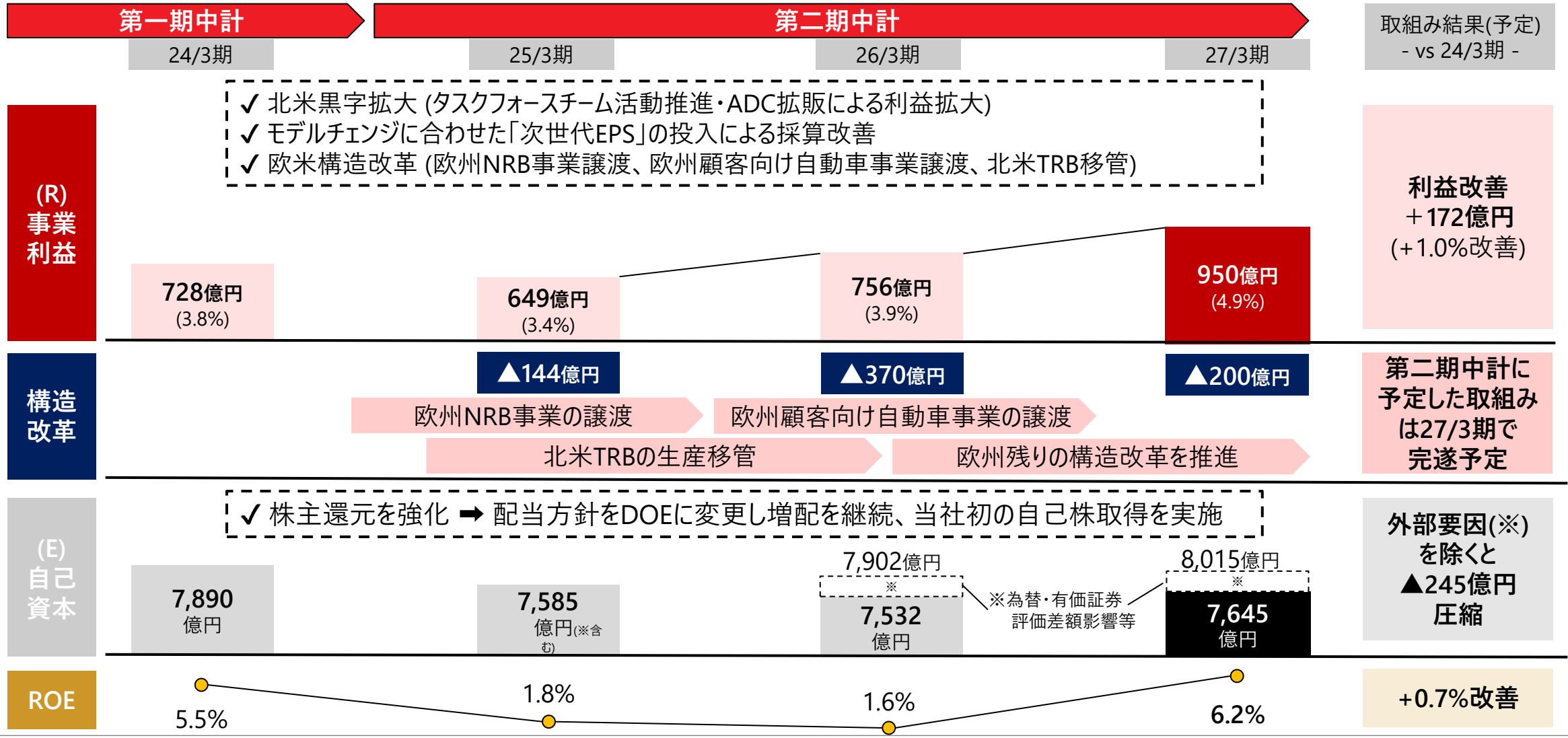
■ 中計目標に届いているのは自動車事業のみだが、**各種施策効果により体質は着実に改善**

事業	事業利益率				評価コメント	
	2024 実績	2025 実績	2026 見込	2026 中計	主な成果	課題・今後の取組み
自動車	2.9%	3.4%	4.6%	5.5%	**中国等での台数減影響を受けるも、各種取組みにより採算性改善** ✓ SbW*, Pairdriver® 等新製品の量産開始 ✓ 車両モデルチェンジ時のEPS*採算改善 (次世代EPS)	✓ SbW, Pairdriver®の拡販 ✓ モジュラー設計の強化 ✓ レジリエントな生産ラインの構築
産機・軸受	2.5%	3.2%	4.1%	7.5%	**産機市場の低迷長期化も、構造改革効果は計画通り発現** ✓ 欧州NRB*事業の売却 ✓ 欧米TRB*生産の撤退 ✓ eAxle向け超高速回転深溝玉軸受開発	✓ グローバルでの再編継続と強靭化 ✓ 重点顧客、高付加価値品の販売強化
工作機械・システム	10.4%	9.6%	9.4%	11.0%	**高採算維持も、BEV化遅れの影響＋北米FA事業への先行投資により減益** ✓ 北米FA事業拡販に向けた準備 ✓ 半導体向け研削盤新製品の開発・市場投入	✓ 北米FA事業の更なる拡販 ✓ 大型研削盤G5等の開発・市場投入 ✓ ３Dものづくり強化
(参考値) アフターマーケット (上記3事業の内数、社内管理値)	14~15%	14~15%	14~15%	14~15%	✓ ベトナムに販売拠点新設 ✓ 自動車部品の市販投入ラインナップの拡充	✓ 注力地域(アフリカ、アセアン、インド、中央アジア)での拡販 ✓ 商品力の更なる強化 ✓ 物流・倉庫の最適化

*SbW: Steer by Wire *EPS: Electric Power Steering *NRB: Needle Roller Bearing *TRB: Tapered Roller Bearing

Copyright (C)：JTEKT Corporation

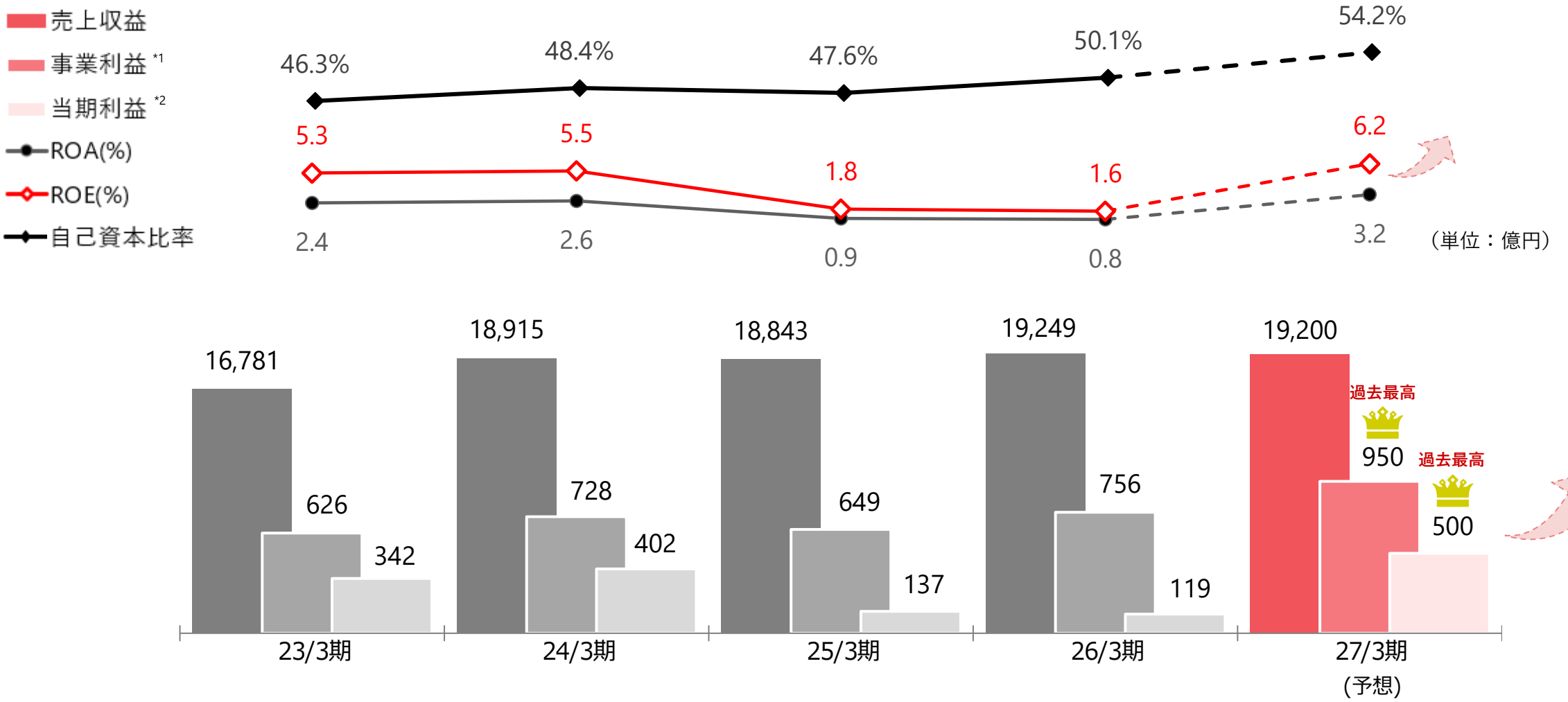
■ 構造改革を推進しながら『R』の改善・『E』の適正化に取り組み、ROEは改善 → 目標達成も視野



Copyright (C)：JTEKT Corporation

4. 業績・株主還元

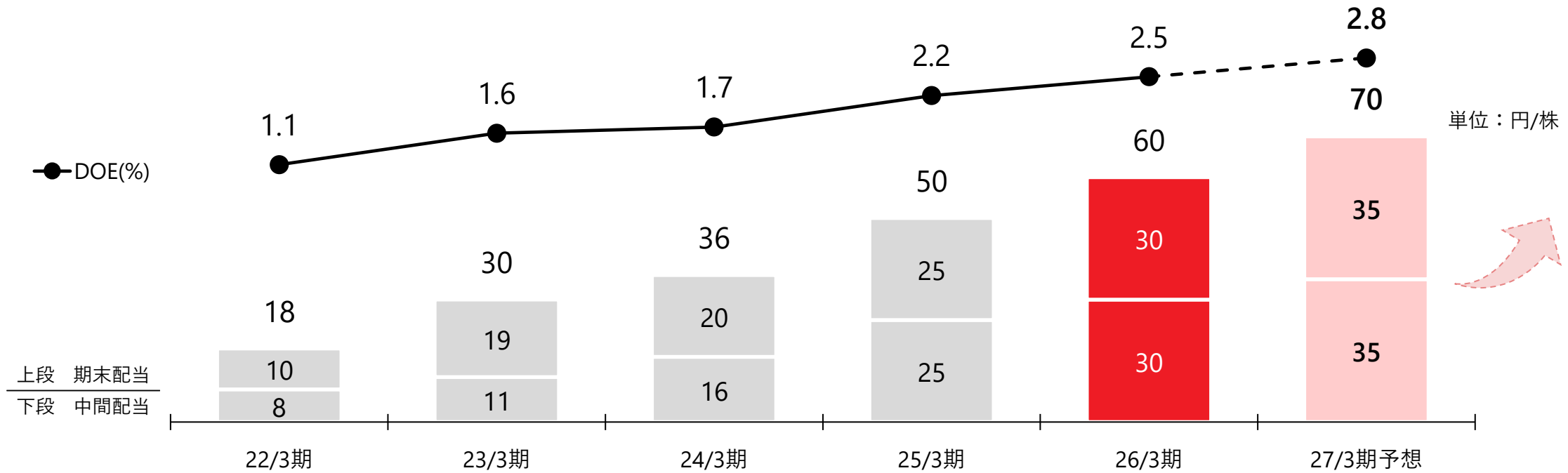
■ 25/3期、26/3期は構造改革一時費用により当期利益は低迷も、27/3期はその効果発現により過去最高益を見込む



*1 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費 : IFRS導入に伴い、当社が設定した管理利益 (日本基準の「営業利益」と同等)
*2 親会社の所有者に帰属する当期利益

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 中期経営計画に沿って、財務健全性とのバランスを取りながら株主還元を拡充
27/3期 配当予想：年間70円 (中間35円・期末35円、DOE 2.8% 期初公表を据え置き)

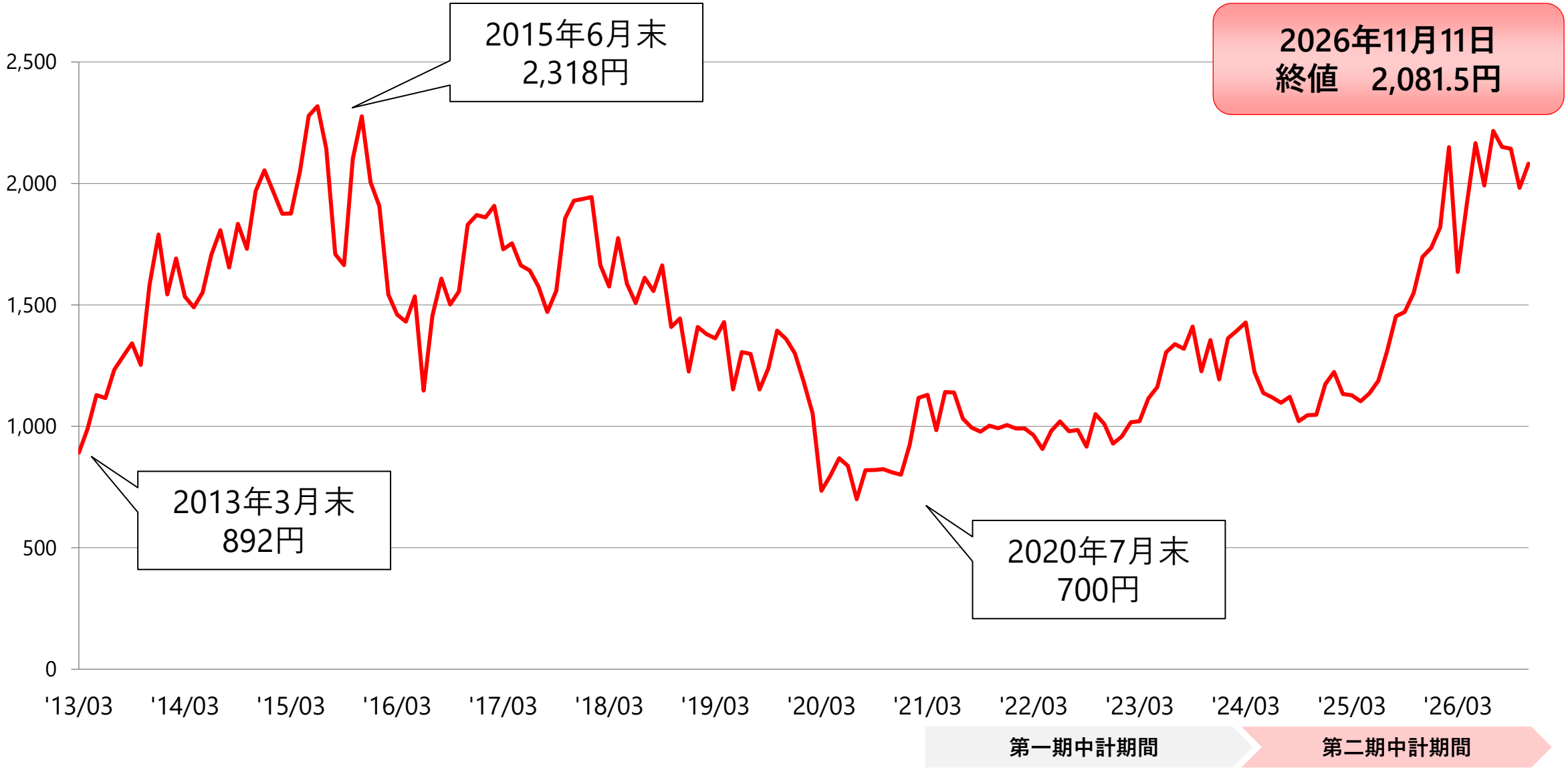


当期利益(億円)*	206	342	402	137	119	**500**
EPS(円)	60.31	99.94	117.37	40.36	37.62	**157.06**
配当性向(%)	29.8	30.0	30.7	123.9	159.5	**44.6**

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

Copyright (C)：JTEKT Corporation

4-3. 業績・株主還元｜株価の推移



Copyright (C)：JTEKT Corporation

5. 未来への挑戦

■ ステアバイワイヤの新ブランドとして、Syncusteer™ を発表(26/5/7)

【各方面から受賞】

- 日本機械学会
  (R7 日本機械学会賞(技術))
- 自動車技術会
  (2026年 技術開発賞)
- トヨタ自動車様
  (技術開発最優秀賞)

Syncusteer

SYNC（同調・協調）

- ドライバーと車両がひとつに
- 人と機械が寄り添う

×

STEER（操舵）

- 培ってきた技術への誇りと責任
- 「曲がる」の体験価値の拡張

US

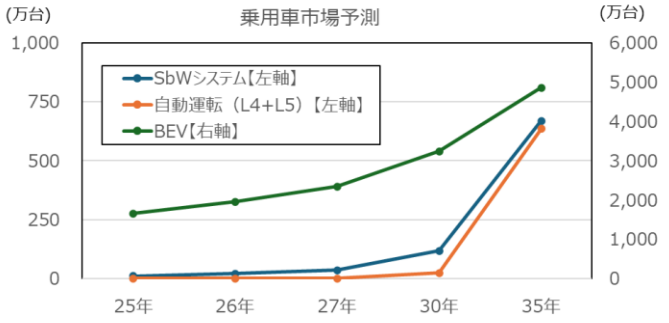
- お客様/ジェイテクトの技術

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ SbWの需要は、自動運転・BEVの普及とともに2030年以降急速に高まる予測

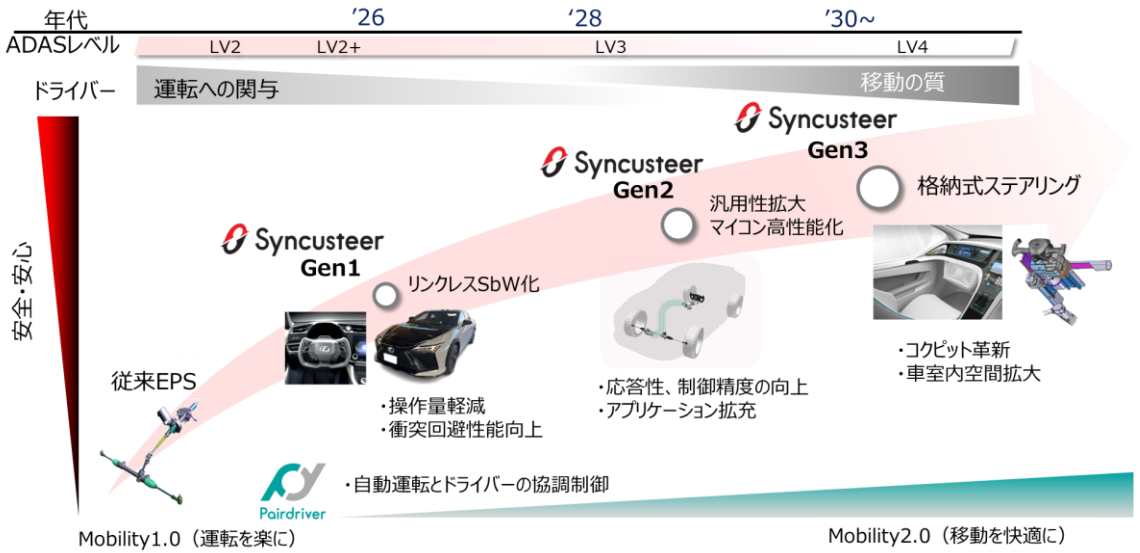
■ 我々の強みを活かし、戦略を立て、デファクト化を目指す

市場規模予測とSbWの進化



30年以降の需要高まりに合わせ、売上拡大を図る

(出典)
・BEV台数予測:
S&P Global社データ(2026)より
・自動運転、SbW普及予測:
富士キメラ総研
「2024年自動運転・AIカー市場の将来展望」より

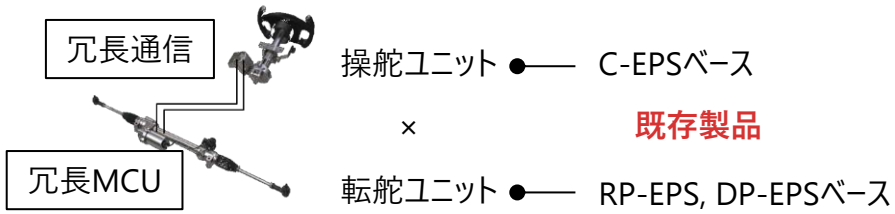


デファクト化に向けた戦略

■ジェイテクトの強み

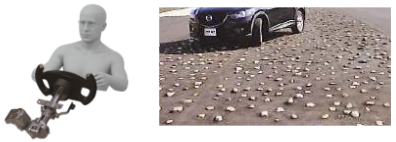
✓ **高い信頼性と量産性**

既存製品・既存技術・既存設備を活用可能



✓ **高度な制御/通信技術**

世界No.1のEPS経験に基づき、ドライバーに必要な
路面情報を精緻に伝達



■戦略

✓ グローバル市場の二極化に対応したECU*システム提案

✓ モジュラー設計の強化

✓ 生産ライン改革による投資抑制

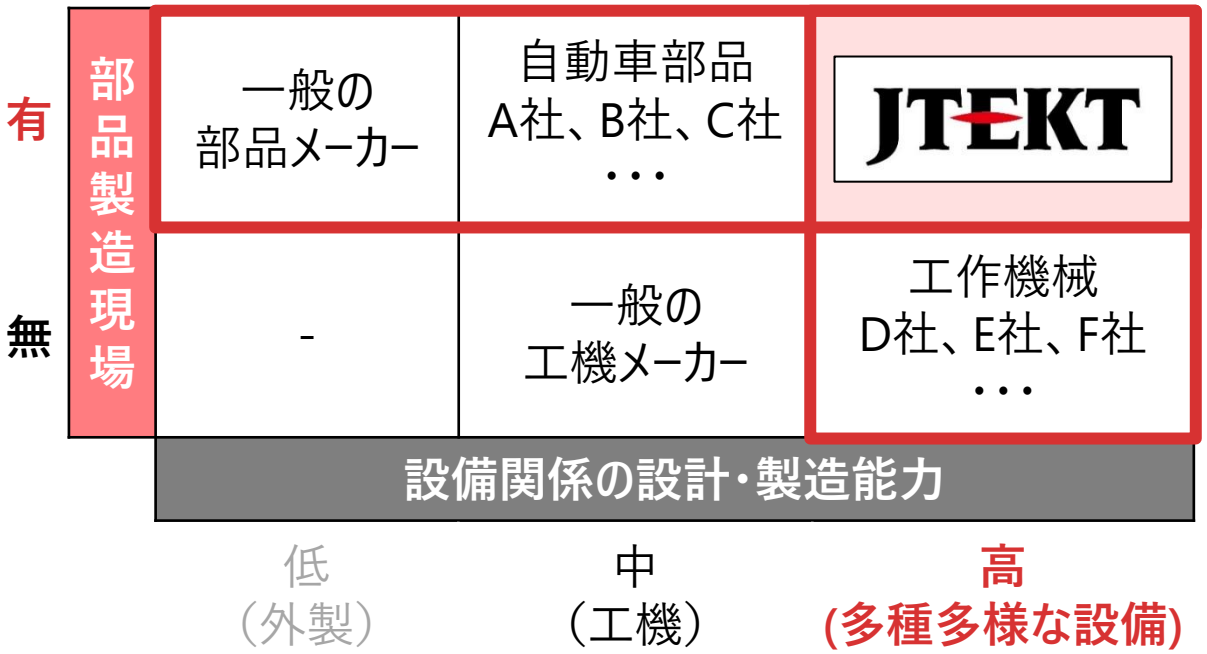
*C-EPS: コラムタイプEPS　*RP-EPS: ラックパラレルタイプEPS　*DP-EPS: デュアルピニオンタイプEPS　*ECU: Electronic Control Unit

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 稀有な立ち位置(部品×設備×現場)だから、“工場の困りごと単位”で価値提供できる

■ジェイテクトのポジショニング ＝ 稀有な立ち位置

- ✓ **自ら部品製造の工場現場を持ち**、同時に**工作機械・設備を作れる**技術力を持つ数少ないメーカー
- ✓ **「作る側」と「使う側」の両方を実体験として理解**していることが最大の強み

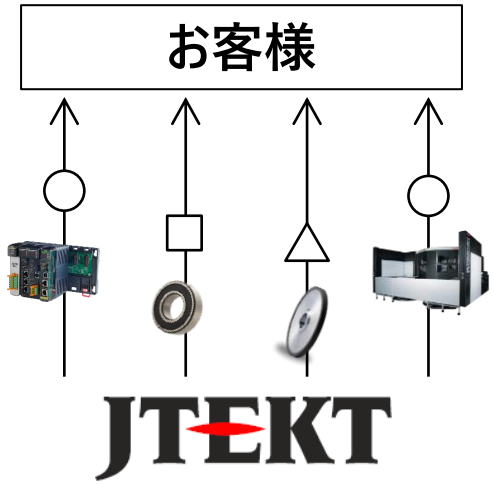


■ソリューションプロバイダーへのステップ

- ✓ 既に「**工場課題を解くピース**」は揃っているが、**単品での提供**に留まってしまっている
- ✓ ジェイテクトだからできる**工場の「次の課題」まで見据えた トータルソリューション**を他社工場へ提供していく

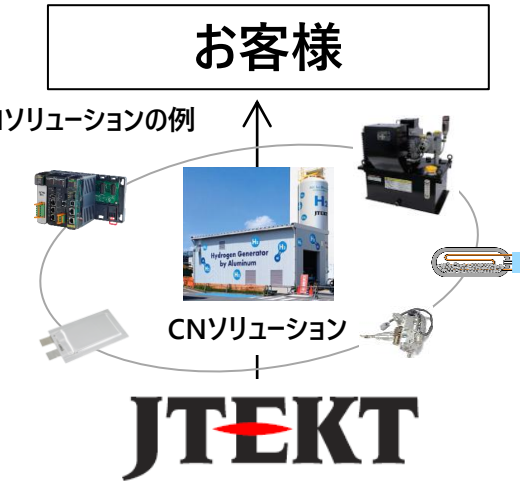
(現状)

「点」での提供(単品売り)



(目指す姿)

トータルソリューション提案



Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ コンセプト：設備をつくる!! 自社工場で使う!! ➡ だから、ジェイテクトはできる!!



Copyright (C)：JTEKT Corporation

ジェイテクトの豊富な経験からお困りごとを解決します



Copyright (C)：JTEKT Corporation

Issue 現場の悩み

突然の設備停止…
こんなお困りごと、
ありませんか？



設備停止で
生産ロス
発生！

Answer JTEKTの提案

JTEKT-RemoteCare®で解決!

見つける（異常監視・アラート通知）

1 RemoteCareが検知しAIが原因を解析



- アラート自動検知
- データ解析
- 類似事例から推定



導入効果
保全業務の効率化

つなぐ（遠隔サポート・早期復旧）

2 担当者へ即時通知（1分以内）



導入効果
復旧時間の短縮

3 現場で初動対応・早期復旧



導入効果
出張コストの削減

改善する（月次レポート・改善提案）

4 月次リモートケア分析（継続的な改善）



- アラート傾向
- 対応実績
- 改善提案

導入効果
- 設備状態の見える化
- 継続的な改善・予防保全

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ “表面処理” ～ “仕上加工” を研削盤の機上でワンチャックで実現するレーザークラッド複合研削盤を開発

▶ レーザークラッド複合研削盤 (‘26/8/25リリース)













Copyright (C)：JTEKT Corporation

Issue 現場の悩み

自動化すれば人は楽になるはず…でも、なかなか進まない

Why?

❶ 導入まで時間がかかる
- 現場確認 ● 設計変更
- 現場調整 ● 手戻り発生

→ 想定外の時間増

❷ 想定以上にコストがかかる
- 作り直し ● 追加工事
- 調整工数増加

→ 想定外のコスト増

Answer JTEKTの提案

デジタルで現場を再現し、手戻りを未然に防止

従来の自動化

調査 → 設計 → 製作 → 導入 → 手戻り発生

こんな問題が発生…
- 作り直し
- 現場調整
- 追加工事

JTEKTが提案する自動化プロセス

現状把握 → デジタル再現 → 事前検証 → スムーズ自動化



❶ 現場と作業のデジタル分析ツール

現場の人と設備を
デジタル化し、
改善ポイントを発見・検証



❷ ロボットのファインティーチレスツール

現場の誤差を測定し、
プログラムへ反映することで、
現場での手直しを削減



Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ “エネルギーの見える化”が、コスト削減の第一歩!!

工場診断
エネルギー課題の把握

見える化ソリューションのご提案
CNロードマップ策定 × 計画に基づく見える化のシステムアップ
データの使用方法も提案

省エネ提案
優先順位をつけて改善
- 立上時間見直し
- 待機設備停止
- エアの最適化
- インバータ導入

など

ジェイテクトの取組み 自社工場でカーボンニュートラル達成

CNラボ 事務所規模でのCN
- 蓄電送電ソリューション開発
- 水素ソリューション開発

つくる ためる はこぶ つかう



見える化画面公開中！

CNプラント 工場規模でのCN
1. ロードマップ策定
2. 見える化・省エネ
3. 再エネ導入・エネマネ
4. 水素利活用（アルミ鋳造）



CO_2原単位 51%削減 ※2013年比

私たちの取組みから導き出した、「CN達成」までの6STEP

省エネのその先も一貫してサポート
太陽光パネル × 蓄電池 × 水素利用
導入シミュレーション

STEP 01	STEP 02	STEP 03	STEP 04	STEP 05	STEP 06
ロードマップ策定	見える化 省エネ	再エネ導入	蓄電池導入	水素活用	CN達成へ
何から始めればいいんだろう?	省エネをしたいが、どこからやればいい?	太陽光パネルはどう進めるの?	発電した後、何をすればいい?	電化できない燃料の対策は?	最後の一手は何が最適か?
導入診断	見える化活用(AI)	エネマネSIM	B-EMS/BCP	H_2-EMS	F-EMS

Copyright (C)：JTEKT Corporation

6. おわりに

■ 2026年9月29日に「JTEKT Report 2026」を発行しました

リンク先→ジェイテクトレポート2026｜株主・投資家情報｜株式会社ジェイテクト













■ 当社のウェブサイト（https://www.jtekt.co.jp/）に「株主・投資家情報」を掲載しております。



本日の説明内容について
ご不明点等ございましたら、
『お問い合わせフォーム』を
こちらに用意していますので、
ご連絡下さい。
よろしくお願い致します。

統合報告書
（ジェイテクトレポート2026）





非財務情報については、『サステナビリティ』に掲載しております。


JTEKT
STINGS
AICHI
© JTEKT STINGS AICHI
ジェイテクトは、スポーツを通じて、
あらゆるステークホルダーのみなさまに
夢と元気をお届けする存在を目指します!!
地域貢献
社会貢献

【本資料に関する注意事項】

本資料は、当社の概況・戦略を説明する目的の資料であり、投資の勧誘又は売買の推奨を目的としたものではありません。

また、本資料には、当社 (連結子会社を含む) の業績予想や将来予測に基づく計画・戦略の記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性、および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動リスクなどを内容しています。

従って、実際の成果や業績、戦略などは、この資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

なお、本資料は金融商品取引法第13条第 5 項により目論見書以外の文書、図画、音声、及びその他の資料に該当する資料であり、当社事業の理解を深めるために当社が作成したものであります。当社の有価証券への投資判断は目論見書を入手し、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。目論見書のご請求、お問い合わせは、取扱い証券会社までお願い致します。

JIMTOF2026


JTEKT
そのニーズに、
ピッタリのソリューションを。
JTEKT
そのニーズに、ピッタリのソリューションを
The MATCH
大型CNC円筒研削盤
G5P250G
大型ワークの自動研削
表面処理から仕上げまで、1台
レーザークラッド肉盛溶接機
LC2000
多段形状といしが、工程を束ね
立形研削盤
VGF300
段替え自動化で、もっとスマー
センタレス研削盤
C6040F
JTEKT
株式会社ジェイテクト
株式会社ジェイテクトマシンシステム
The MATCH


工場マネジメント
Factory Management
工場全体を見える化し、生産を止めないソリューションを提案
Providing visibility across the entire factory and proposing solutions to keep production running.
MATCH 生産性を上げたい
様々な工程を見える化することによりムダを削減し、生産性向上に貢献
MATCH 時間をかけずに工場の困りごとを解決したい
トヨタ生産方式を活用した豊富な実績をもとにお客様の課題解決を支援します
MATCH 突然の設備停止を無くしたい
遠隔サポートや予兆管理で生産を止めない設備保全に貢献
JTEKT-RemoteCare
工具寿命予測システム


CNソリューション
Carbon Neutrality Solutions
モノづくり現場のエネルギーを見える化し、省エネ施策を提案
Visualizing energy use on the shop floor and proposing energy-saving measures.
MATCH 稼働時の消費電力を削減したい
高速性に優れた工作機械主軸用軸受
ハイアビリー®JFAST
MATCH 非稼働時の待機電力を削減したい
インバーター制御の省エネ油圧ユニット
トヨバックECOIIプラス
MATCH 省エネに取り組みたい
エネルギーの見える化で課題を把握
PRECILENCE® が解決します！
1ランクUP
すぐ組付け
グリース潤滑
消費電力
すぐ復帰
メンテナンス


自動化プロセス
Process Automation
デジタル活用で人作業を見える化・省力化・自動化
Using digital technologies to visualize manual tasks, reduce labor requirements, and automate operations.
MATCH 工程設計の属人化を変えたい
全型の工程設計とNCプログラムを自動作成
Mill-Plan
MATCH ロボットのティーチングを無くしたい
デジタル補正で手直し削減
ロボットのファインティーチレス
MATCH 自動化を確実に進めたい
デジタルで現場を再現し
手戻りを未然に防止
JTEKT

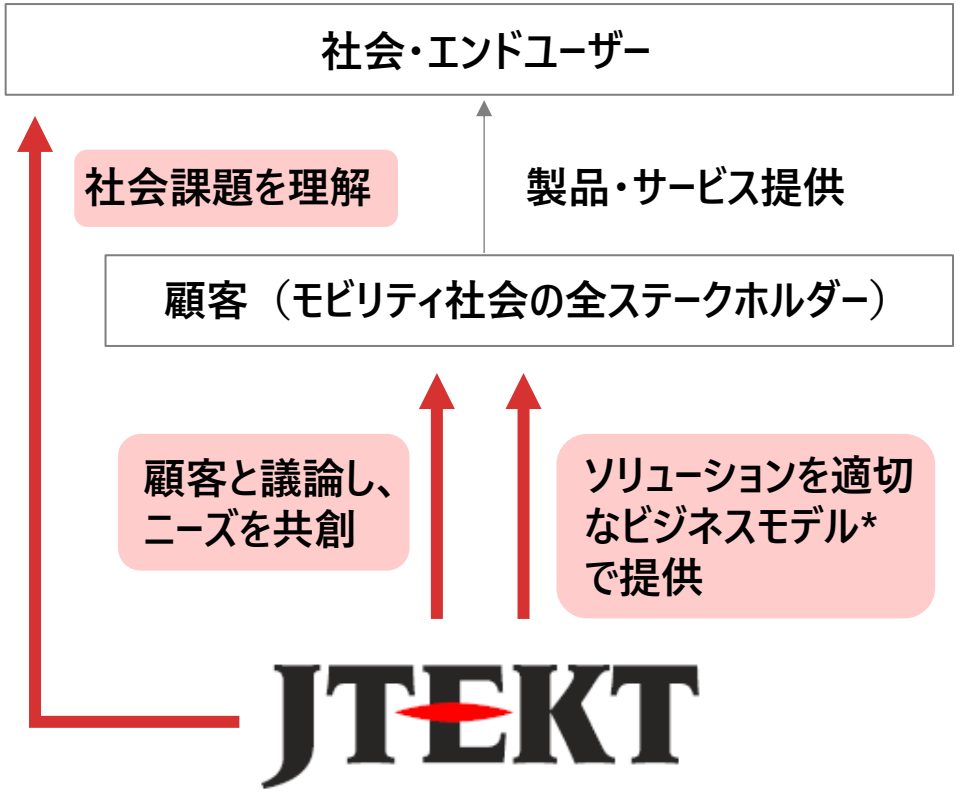
JTEKT Group 2030 Vision

モノづくりとモノづくり設備で
モビリティ社会の未来を創る
ソリューションプロバイダー

ビジネスモデルの転換 (パラダイムチェンジ)

【従来】Job Request受領を起点にビジネス開始

【今後】共創を通じ、ニーズを起点にソリューション提供



* 製品提供だけでなく、IP/設計図外販、製造委託請負等、柔軟に提供

Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ ROE・利益率の改善と将来のソリューション拡充に向けて、経営・事業体制の強化を図る

ソリューションの創出力強化

ソリューション共創センターの発足

- 全社のコア技術・コンピタンスを掛け合わせ、迅速なソリューション化を実施
- テクノロジープラットフォームの構築



競争力の強化

収益力最大化に向けた事業戦略構築

- 2030 Vision / ソリューション拡充を実現するためのアクションプランを具体化
- 売上拡大でなく、ROE・利益率改善を目指した戦略を検討

事業を支える"デジタル基盤"強化

- デジタルモノづくり改革を進め、エンジニアリングチェーンを一気通貫で刷新
- 情報基盤の刷新を図り、経営・業務を含めた全社でデジタル活用を推進

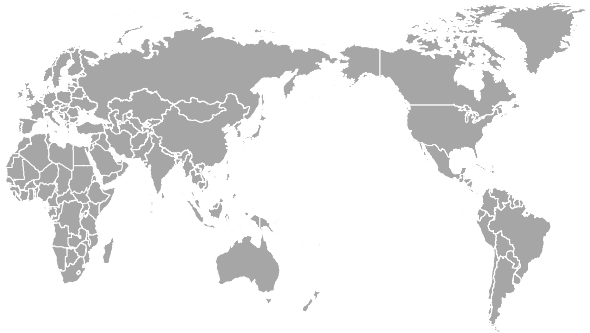
グローバル体制の再構築

インド拠点強化

- グローバル拠点としての活用を推進

欧米の構造改革

- グローバルで開発・生産の最適配置を推進



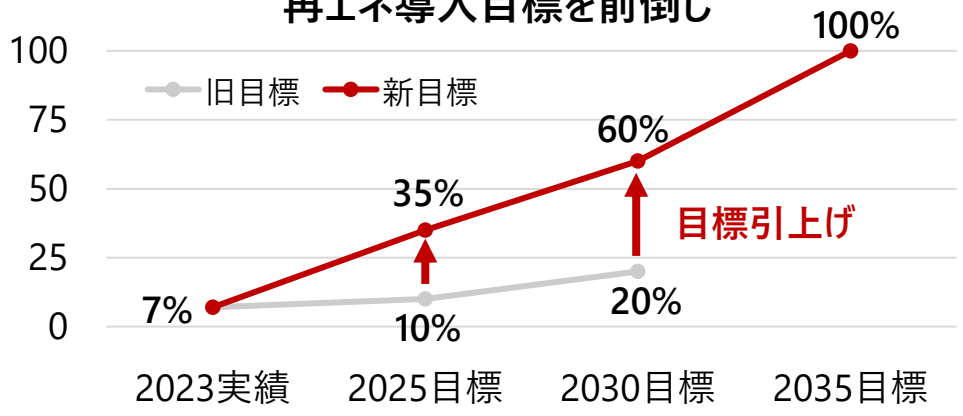
Copyright (C)：JTEKT Corporation

■ 積極的な再生可能エネルギー活用とコンピタンスの掛け合わせによるCNソリューションを開発

■ 工場ソリューションのパッケージの一つとして、ビジネス化を推進中

グローバルで再エネプロジェクトを推進

再エネ導入目標を前倒し※1



オンサイト・オフサイトPPA/VPPA※2を推進


ソーラカーポート


フェンスソーラ


風力発電

証書購入に頼らない再エネ戦略
オンサイト ： 屋根だけでなく、カーポート等にも積極導入
オフサイト ： 荒廃地の活用など環境への負荷を配慮

CN × ココプラ ＝ CNソリューション

※コアコンピタンスプラットフォーム

コンピタンス

工作機械



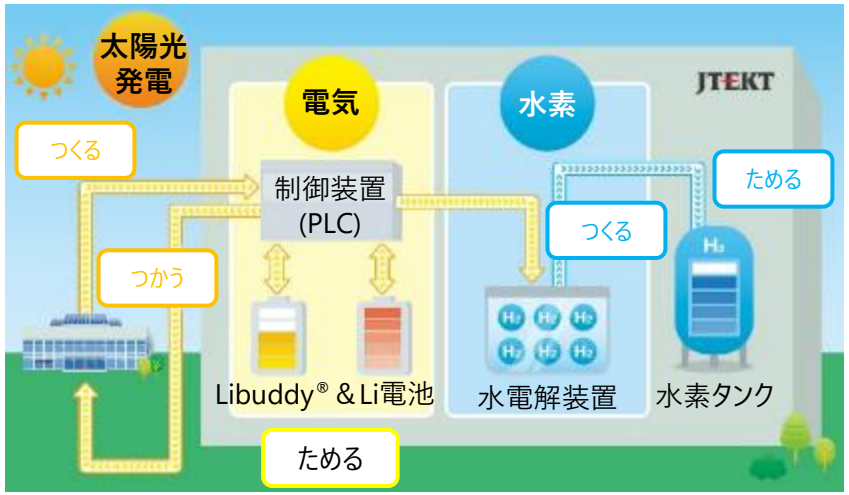
- 装置設計技術 (シンプル・スリム・コンパクト)
- システム制御技術

新事業 Libuddy

- キャパシタの新たな活用

カーボンニュートラルの実現へ

刈谷CNラボ：再エネから電気・水素を生成



※1 旧目標2020年度設定、新目標本年設定・初公表、※2 PPA：Power Purchase Agreement、VPPA：Virtual Power Purchase Agreement

Copyright (C)：JTEKT Corporation